

クラウドICT時代の映像・音響・通信からセキュリティ・防災・ロボット・医療・宇宙産業まで

映像制作

オーディオ

セキュリティ技術



月刊/フルデジタル・イノベーション

Vol.320



■ 特別記事 …… AI社会を支える重要インフラ～データセンター業界最大級のイベント Data Center Japan

■ 特別寄稿 …… 飛行機が好きだ、海外出張の思い出

■ Digital ESSAY …… 「エチレン危機」/One Point BUZZ WORD : パスティッシュ

■ スタジオ夜話 …… 第155話 スタジオ夜話 ラジオドラマ制作「創意工夫」のエピソード編

■ 特別寄稿 …… 昭和30年代の備忘録 III



<http://uni-w.com/fdi/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 貴重な森林資源や地下資源の保全を図るため、当誌ではアルミニウム廃棄等が起こりにくいデジタル印刷機にて印刷しております。また、本文中に多用しております、QRコードをスマートフォンやタブレット端末などのカメラにて読み取る事により、デジタルコンテンツを容易に入手可能です。

2026 4

Price 600.-

# 超音波可視化装置

超音波ビューア UUSV002

**OTARI**

オタリ株式会社

## 見えない超音波を見る！

You can see the  
Standing waves to  
check your ultrasonic  
cleaners.



定在波の可視化



超音波ビューア UUSV002

よりコンパクトになって新登場！

ていざいは

## 超音波洗浄機により生じる“定在波”を可視化します。

### ■用途

- ・超音波の強い部分、弱い部分が目視で分ります。
- ・超音波の定在波分布が目視できます。
- ・超音波が作動しているかチェック、管理できます。

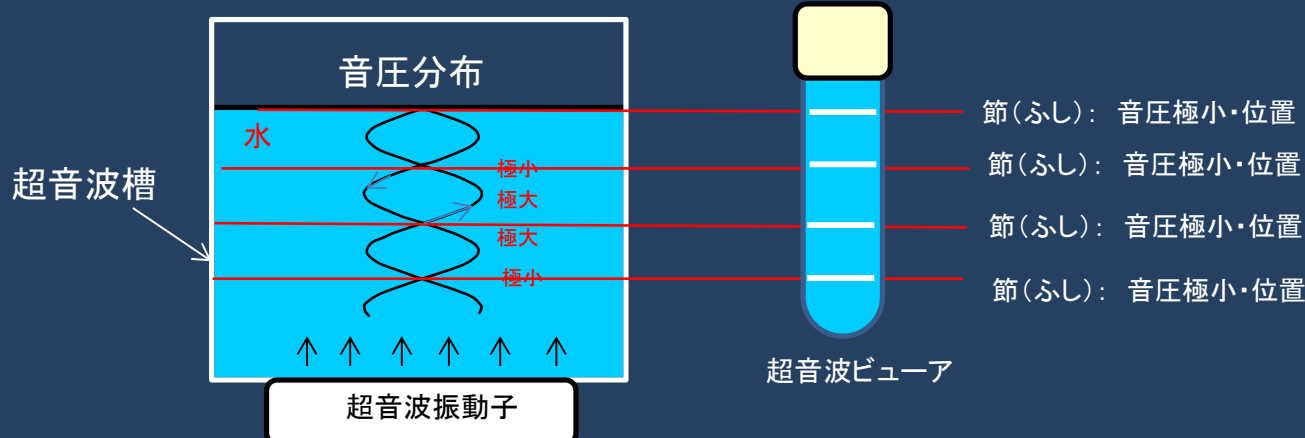
### ■可視化原理

超音波を水中に照射すると、液面で全反射し、入射波と反射波が重なり合い、定在波と呼ばれる音圧の強弱が生じます。物理現象です。

定在波は、音圧の節(極小)と腹(極大)が交互に現れます。ここに特殊なパウダーを入れると、音圧の節(極小)の位置にパウダーが集まり、定在波を目視する事が出来ます。



超音波ビューア外観



### ■主仕様

- (1) 容器 : ガラス製  
ガラス製なので様々な溶液の中に入れることが出来ます。
- (2) 内容物 : 水、色素、特殊パウダー
- (3) ケースサイズ :  $\Phi 38\text{mm} \times 200\text{mm}$
- (4) 重量 : 280 g
- (5) 収納 : ケース付



測定例1) 平面波



測定例2) 球面波

販売店

メーカー・製造・販売

東京営業 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-29-18  
**オタリ株式会社 荻窪本社 UCUグループ**  
 TEL : 03-5941-5206 FAX : 03-5941-5261

松本営業 〒399-8204 長野県安曇野市豊科高家5208-1  
**オタリ株式会社 松本工場 UCUグループ**  
 TEL : 0263-72-3883 FAX : 0263-72-8115



(株)インフィニットシステムズ(東京都渋谷区神宮前・代表取締役 新谷 収)は、コンサートツアーや各種企業イベントのサポートなどを主体とした事業展開を行っているが、昨今本社移転を行い、事業所は「映画の街」と「味の素スタジアム」で有名な調布市にある。昨今はオリジナルの電源ユニットの販売なども行っているといった、カテゴリーにこだわらずに多岐のビジネスを行うユニークな会社である。

## ■ Live Sound ■



コンサートツアーから e スポーツ、各種企業イベントまで、PA 業務全てをサポート致します。お客様のニーズに合わせた音響プランのご提供が可能です。音響に関するすべての業務についてご相談いただけますのでご安心してお任せください。

また、ライブ配信のサウンドメイクや、ライブレコーディングのサービスも合わせてご利用いただくことが可能です。

コンサートツアーからライブハウス、企業イベント・e スポーツ等、多岐にわたる Live Sound 実績があります。

- ・堀内孝雄コンサートツアー モニターミックス
- ・有名声優フェス@ Zepp Tokyo
- ・e スポーツ公式大会 多数
- ・企業式典・表彰式・パーティー等
- ・企業展示会(東京オートサロン・東京ゲームショー等)
- ・スポーツイベント(TOKYO 2020・SUP クラブチャレンジ 湘南大会)

## ■ Live レコーディング ■

コンサートSR 業務に長年携ったエンジニアによる、ライブレコーディングサービスを開始いたしました。

バンドやオーケストラのレコーディング、ミックスダウンを行います。大ホールから小規模ライブハウスまで様々な環境下の中でベストなサウンドを作り上げます。

勿論、出来上がった楽曲をミックスダウン、マスタリングといった最終行程まで、音楽制作に必要な全ての行程を請け負う事が可能です。ライブミックスとライブレコーディングを合わせてご利用いただくことも可能ですので、コスト削減に繋がります。

お客様のご要望に合わせ、最適なプランをご提案いたします。



小規模会場から有名ライブハウス、コンサートホール等の実績

- ・毛皮のマリーズ@LIQUIDROOM
- ・オペラコンサート@豊南坂協会
- ・特定非営利活動法人 世界の国旗・国歌研究協会
- ・大手音楽系専門学校 卒業公演

## ■ Video Production ■

WEB プロモーション/イベント・展示会・セミナーなどのオープニング映像/式典・授賞式などの記録映像の編集など様々な用途に対応いたします。

限られた予算内での、効果的な制作手法等の提案はプロフェッショナルなスタッフにお任せください。

納品形態も様々な動画フォーマットに対応。お客様のニーズに合わせた最適な配信方法をご提案いたします。

また、同社所有の映像、音楽ライブラリーの使用や、プロのナレーターによるナレーションも依頼可能です。



記録撮影からWEB プロモーション・表彰式の演出映像等の実績

- ・映画祭・企業表彰式のオープニング等の演出映像
- ・新商品プロモーション
- ・特定非営利活動法人 世界の国旗・国歌研究協会 YouTube 用動画制作
- ・企業展示会のプレゼンテーション映像
- ・撮影技術協力



## ■ 電源ユニットの販売 ■

DengenKun-Jr はクリーン電源の供給だけでなく、設置から使用まで高い利便性を提供するパワーディストリビューターです。放送局、スタジオ、ライブ会場、コンピュータ機器用など様々な現場で重宝されています。

設備用のDK-2030-S/3030-Sはこれまで多くの放送局、スタジオ等に3,000 台以上の納入実績があります。

デモ機のご用命など、お問い合わせは CONTACT ページからご連絡ください。



- ・DengenKun-Jr 納入実績3000 台以上
- ・オリジナル電源ユニットの製作

\*\*\*\*\*

株式会社インフィニットシステムズ

渋谷事務所：東京都渋谷区神宮前 6-23-4 桑野ビル 2F

調布事業所：東京都調布市

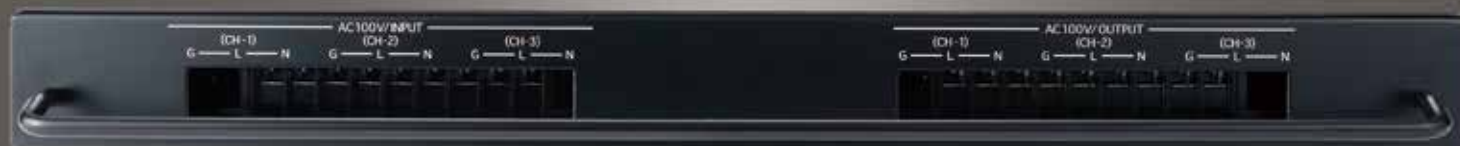
代表取締役：新谷 収

TEL:03-6848-0254 <https://www.infinite-s.com/>

さらに使いやすく進化しました!  
**RENEWAL!**

# DengenKun-Jr

## DK-2030-S/DK3030-S



DengenKun-Jrはグリーン電源の供給だけでなく、設置から使用まで高い利便性を提供する電源ブレーカーボックスです。放送局、スタジオ、ライブ会場、コンピュータ機器用など様々な分野で利用されています。本製品は従来品のDK-2030/3030（納入実績3000台）を、皆様の「より使いやすく」というご要望のもとにリニューアル致しました。

**NEW!**



端子台を筐体内に設けたことで、接点にホコリが付きにくい！  
ネジ止め(M4)は、上蓋を外して簡単！

**NEW!**



ケーブルの重みで接続部にテンションがかからないように  
アームを追加！ 安全面もUP!



## 環境にやさしい無はんだ仕様

DK-2030-S 販売価格 73,000円(税抜き)

DK-3030-S 販売価格 79,000円(税抜き)



INFINITESYSTEMS  
creative sound & video production

株式会社インフィニットシステムズ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2F  
TEL: 03-6848-0254 <https://www.infinite-s.com/>

# SSL System T

## The Future of Audio Production for Broadcast is Here.



### 次世代の放送用大規模ミキシングコンソール

SSLはオーディオミキシングコンソールのコントロールサーフェイスを40年に渡り開発し続け、今日のユーザーインターフェイスのデザインと機能における事実上のスタンダードを確立しました。System Tはその伝統の継承に新たな革新を加えました。ハードウェアパネルと大型マルチタッチスクリーンとを組み合わせ、高い操作性とビジュアルフィードバックを実現した、放送プロダクションに特化した新しいコントロールセットを採用しました。そして完全なリダンダントに対応したコアユニットに対して最大3つのコントロールサーフェイスを同時に接続することができ、ひとつの、あるいは全く別の作業を複数から同時に行えます。大規模なルーティングに対応する信号処理と伝送には Dante HCを採用し、1系統のギガビットネットワーク接続で512ch(@48kHz)または256ch(@96kHz)の双方向伝送を可能にしています。効率的で効果的なI/Oユニットの設置と簡易で安価な機器の増設や変更、リソースの共有や振り分けなど自在なシステム設計と自由度の高い運用を実現します。



<b>特別記事</b>	～AI社会を支える重要インフラ～データセンター業界最大級のイベント Data Center Japan 2026		6
<b>特別寄稿</b>	飛行機が好きだ、海外出張の思い出	金丸 幹夫	20
<b>スタジオ夜話</b>	第155話 スタジオ夜話 ラジオドラマ制作「創意工夫」のエピソード編	森田 雅行	22
<b>特別寄稿</b>	昭和 30 年代の備忘録	千葉豹一郎	24
	<b>Information &amp; Topics</b>	持丸 和夫	30

表紙写真：～AI社会を支える重要インフラ～データセンター業界最大級のイベントData Center Japan 2026が、2026年3月24日(火)～3月25日(水)に東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催された。(関連記事P.6)

**【お知らせ】** 本誌の内容は、本誌ホームページにも掲載されております。アドレスは <http://www.uni-w.com/fdi/> です。  
また、ホームページには本誌に掲載した時点以後の最新情報も掲載しております。そちらもあわせてご利用下さい。  
お問い合わせは E-mail : [info@uni-w.com](mailto:info@uni-w.com) までお願いします。

※ 本誌の内容（記事・写真・イラストなど）の無断での転載、複製を禁じます。 ©ユニワールド 2026



～ AI社会を支える重要インフラ～  
データセンター業界最大級のイベント

# DCJAPAN DATA CENTER JAPAN



～AI社会を支える重要インフラ～データセンター業界最大級のイベントData Center Japan 2026が、2026年3月24日(火)～3月25日(水)に東京都港区海岸1-7-1東京ポートシティ竹芝にある東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催された。

一般展示は10時～17時、またカンファレンスは10:10～16:45であった。なお、アーカイブ配信は4月6日(月)～4月30日(木)まで行なわれている。

主催:特定非営利活動法人日本データセンター協会

共催:株式会社ナノオプト・メディア

後援団体:デジタル庁/総務省/経済産業省/東京都/独立行政法人情報処理推進機構(IPA)/国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)/一般財団法人インターネット協会/一般社団法人建築設備技術者協会/一般社団法人ソフトウェア協会/一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター/一般社団法人情報サービス産業協会/一般社団法人電気通信事業

者協会/一般社団法人電子情報技術産業協会/一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会/一般社団法人日本建築士事務所協会連合会/一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会/一般社団法人日本クラウド産業協会/一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス/一般社団法人日本経済団体連合会/一般社団法人日本シーサート協議会/一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会/一般財団法人全国地域情報化推進協会/特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会/JADOG(JApan Datacenter Operators' Group)/データセンタークロスアライアンス/北海道ニュートピアデータセンター研究会  
開催実績:Data Center Japan 2025 -日本データセンター協会15周年記念イベント-

来場者数: 3月24日(天候=晴れ) 4,411名(2025年度開催 2,883名)/ 3月25日(天候=曇りのち雨) 4,266名(2025年度開催 2,609名)

## 基調講演

AI時代の国家インフラとしてのデータセンター  
～産業成長・GX・安全保障をどう両立させるか～

(特非)日本データセンター協会 理事長 /  
さくらインターネット(株)  
代表取締役社長  
田中 邦裕 氏



ワット・ビット連携(電力と通信の効果的な  
連携)の推進について

総務省 総合通信基盤局  
電気通信事業部  
データ通信課長  
鎌田 俊介 氏



教授 江崎 浩 氏

ワット・ビット連携を実現するワークロードシフト:国内外動向と日本の実装戦略  
(株)三菱総合研究所  
政策・経済センター  
フェロー(研究提言担当)  
西角 直樹 氏



AIに関わる経済産業省の取組

経済産業省 商務情報政策局  
情報技術利用促進課長 兼  
AI産業  
戦略室長  
渡辺 琢也 氏



AI時代のデータセンター最新トピックス2026

(特非)日本データセンター協会  
副理事長兼運営委員長 /  
東京大学大学院  
情報理工学系研究科



データセンターの整備促進に向けた東京都  
の取組

東京都産業労働局  
産業・エネルギー政策部計  
画担当課長  
毛塚 健太 氏



# FLOOR MAP 展示会 10:00 - 17:00

5F



4F



2F



出展社情報 (50音順掲載)

**アドバンスデザイン**

データ復旧サービスのパイオニア「アドバンスデザイン」が提案するデータ消去ソリューション。企業の生命線である重要データの取扱いを考慮し、メディア廃棄時・返却時における情報漏洩を完全にシャットアウトします。ユーザーの機密情報を軍事レベルで完全に消去します。データ消去に関するお困りごとはございますか？ パソコン/サーバ等に保存されている機密情報を適切にデータ消去するには？ ユーザーの消去対象機器に合う最適なデータ消去方式は何か？ 消去製品は購入すべきか、レンタルすべきか、オンサイトサービスを利用すべきか？ 消去後の適切な処分方法は？ 「アドバンスデザイン」にご相談ください！

TEL : 03-6375-2582

Email : [adcinfo@a-d.co.jp](mailto:adcinfo@a-d.co.jp)

URL : <https://www.a-d.co.jp/>

**アライドテレス**

AI時代に対応する高速・安定・セキュアなデータセンターネットワークソリューションを紹介しました。25G/100G/400 G 対応スイッチ群による広帯域・低遅延・ロスレス通信の実現、PFC/ETS による通信品質制御、MLAG/VCS による冗長化、MACsec をL2 通信で暗号化し、不正アクセスや改ざんを防ぎ、さらにNETCONF/RESTCONF による運用自動化で、信頼性と使いやすさを両立したインフラ刷新を提案します。

TEL : 03-5437-6000

URL : <https://www.allied-telesis.co.jp/>

**アルプシステムズ**

アルプシステムズはデータセンターでの重量級機器の組込みを支援する電動リフト「ServerLIFT」の実機展示デモを行います。実機が動くのをご覧いただける数少ない機会ですので、弊社ブースにお立ち寄りいただいで動作の様子をご観下さい。また、国内生産も開始したMPO 関連製品などの光ファイバソリューションも展示します。

TEL : 03-5953-9933

Email : [inquiry@alp-sys.net](mailto:inquiry@alp-sys.net)

URL : <https://www.alp-sys.net/>

**イズ**

今回出展では、①分散型（コンテナ型）データセンター 取組、②ハイパースケイラーデータの電気受電コンサルティング、電気工事受注取組をご紹介します。①につきましては、特に、弊社強みである、「コンテナ筐体」、「直流給電システム」、「リユースバッテリー」、「開発業務」などについても紹介したいと考えております。その他にも、太陽光発電（自家消費、NON-FIT）や系統用蓄電所の取組事例をご紹介します。当日、弊社ブースにて皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

TEL : 044-814-3500

URL : <https://www.denkatsuplaza.com/>

**インターネットイニシアティブ**

モジュール型エッジデータセンター「DX edge Cool Cube」の試作機を展示します。AI時代のデータセンターの課題を解決する分散アーキテクチャを実現するソリューションとして、水冷対応でAI向けGPUサーバを搭載可能なエッジデータセンターを、河村電器産業株式会社と共同開発しました。＜特長＞・モジュール連結で、需要に合わせた規模での利用開始、拡張も容易に可能。・完結型設計で個別設計を排除。汎用製品も活用し、短納期・低コストを実現。・空冷+DLCのハイブリッドでの高密度冷却。実証結果や今後の展開についても、ご紹介いたします。

TEL : 03-5205-4466

Email : [dxedge-info@iij.ad.jp](mailto:dxedge-info@iij.ad.jp)

URL : <https://www.iij.ad.jp/>

**インフィニオンテクノロジーズジャパン**

人工知能（AI）アプリケーションの急速な進歩により、データセンターのエネルギー需要は大幅に増加しています。これにより、環境への責任を維持しながら、AIテクノロジーのスケラビリティを向上させるという最重要課題に直面しています。本展示会では、この課題に対処するためのインフィニオンソリューション、「We Power AI」グリッドからコアまで」を幅広く出展します。

Email : [eventjp@infineon.com](mailto:eventjp@infineon.com)

URL : <https://www.infineon.com/ja/applications/information-communication-technologies/hyperscale-computing>

**ヴァイサラ**

AIの爆発的な普及に伴い、安定稼働、高効率運用、そして脱炭素対応への要求も急激に高まる中、データセンター（DC）運用も、次世代化への強い圧力を受けています。その方策は冷却技術の進展など多岐にわたりますが、施設内の稼働環境を正確に把握、可視化するための『計測技術』はひとつの基本であり、DC運用次世代化への重要な鍵です。本展では、計測技術の世界的業界リーダーの1社として、安定稼働・可視化・省エネ・人手不足といったDC運用における主要課題へのソリューションとなりうる、最新の各種環境計測機器を展示します。

TEL : 03-5259-5960

Email : [marketing.japan@vaisala.com](mailto:marketing.japan@vaisala.com)

URL : <https://www.vaisala.com/ja>

**ウェーブスプリッタ・ジャパン**

ウェーブスプリッタ・テクノロジー社は米国カリフォルニア州に本社を置く、データセンターや携帯通信のバックボーンネットワーク、あるいは携帯無線基地局のアクセス・ネットワークなどで使用される光イーサネットや、AIや科学計算などで使用されるHPC（ハイパフォーマンス・コンピューティング）システムなどで必要不可欠となる、光通信モジュール製品を製造販売する企業です。近年、GPUを代表とする専用プロセッサによって構成されたクラスタ通信に、内部バスと同等の高速な通

信環境の需要が急速に高まっております。本展示会ではこれに対応した光トランシーバ製品をご紹介します。

TEL : 03-6380-9601

Email : [jp-support@wavesplitter.com](mailto:jp-support@wavesplitter.com)

URL : <https://www.wavesplitter.jp/>

**ウエスタンデジタルマーケティング**

AI時代に急増する非構造化データへの対応が急務となり、コスト効率・信頼性・適応性を備えたストレージ基盤が重要となってきます。Western Digitalはそのような環境に対応するHDDから高密度HDDエンクロージャーなど、耐久性と経済性に優れたソリューションを展示してご紹介。

URL : <https://www.westerndigital.com/ja-jp/>

**ウッドワード・ジャパン**

電力確保の課題に対して、複数の発電機や再エネを柔軟に構築できる汎用コントローラ（easYgen シリーズ）と、系統・非発切り替えを行う汎用コントローラ（DTSC-200）をご紹介します。

TEL : 043-213-2191

URL : <https://www.woodward.com/>

**エイム電子**

抜け留め金具や結束バンドなどの取付作業なしに、工具不要でワンタッチロックが掛かる電源ケーブルや抜け止め機構付きのコンセントバーをメインに製品を出展させていただきます。創業から約40年、ケーブルのアセンブリをしている会社となります。展示製品以外にも、多数のケーブルをお取り扱いしております。小ロット、短納期、特注ケーブルの製作など、ケーブルに関するご相談がございましたら、ぜひお立ち寄りいただければと存じます。

TEL : 046-253-6299

Email : [aim-exhibition@aim-ele.co.jp](mailto:aim-exhibition@aim-ele.co.jp)

URL : <https://www.aim-ele.co.jp/>

**AGS**

埼玉県に日本データセンター協会ファシリティア・スタンダードのティア4相当のデータセンターがございます。最寄り駅より徒歩8分、駅近データセンターをご紹介します。運用・オペレーションサービスが自慢です。今回の展示では、データセンター紹介に加え、ランサムウェア対策や遠隔地バックアップ保管が実現できる「プロテクトバックアップストレージサービス」をご紹介します。ぜひブースにお立ち寄りいただき、お気軽にお声がけください。

TEL : 048-677-6637

Email : [ags.ml@ags.co.jp](mailto:ags.ml@ags.co.jp)

URL : <https://www.saitama-idc.jp/>

**NEC**

高まるAI需要と環境意識に対応するNECのデータセンターの取り組みを実機展示でご紹介。AI時代の冷却技術：床下配管不要、既存

出展社情報 (50音順掲載)

施設にレトロフィット可能な水冷ラック (特許申請中) を実機展示します。高密度化するITインフラの安定稼働を支援します。・環境配慮型データセンターへの取り組み: pPUE 1.16 (設計値) を誇る省電力データセンターをご紹介します。ユーザーへ直接環境価値を提供する仕組みであるNECの特許で大崎電気システムズ社製のSP盤を実機展示します。3/24 (火) 14:00~14:30には環境配慮型データセンターに関するNECの講演セッションもありますので、ぜひご参加ください。  
 Email : [info@ebiz.jp.nec.com](mailto:info@ebiz.jp.nec.com)  
 URL : <https://www.nec.com/en/global/solutions/cloud/index.html>

**NEC ネットエスアイ**

AIサーバーのカスタマイズとワンストップソリューションサービスの展示  
 URL : <https://www.nesic.co.jp>

**エヌヴェントジャパン**

あなたのデータセンターが変わる。高負荷・高密度を余裕で受け止める次世代冷却ソリューションが集結! 見て、触れて、性能を感じる2日間。ぜひお立ち寄りください。セミナー講演(3/24 12:30~13:00 CDUを中心とした成功した導入事例・運用・リスク管理の視点。)こちらにもお立ち寄りください。  
 TEL : 045-476-0281  
 URL : <https://www.nvent.com/en-us/>

**NTT-ME**

NTT-MEのデータセンター関連サービスをご紹介します。・JPDC AI Container  
 NTT 東日本グループのコンテナ型データセンター・JPDC Cabling データセンター間光ファイバー接続サービス・JPDC All-Photonics Connect powered by IOWN  
 All-Photonics Network 技術を取り入れたデータセンター間ネットワークサービス・JPDC Cabling Custom Made ご要望ルートによるお客さま専用のデータセンター間光ファイバー・JPDC Housing データセンターハウジングサービス  
 URL : <https://jp-dc.com/>

**NTT グローバルデータセンター・ジャパン**

NTT Global Data Centers (NTT GDC)は、世界20か国以上でデータセンターを展開し、グローバルに統一された高品質インフラを提供しています。ハイパースケールを中心に多様なIT戦略に対応し、AIワークロードなど幅広いニーズへ応え、持続可能性と高信頼性を両立した次世代データセンターを構築しています。日本では2月に第一号拠点となる「京阪奈OSK11データセンター」を開設しました。本イベントでは最新ロードマップと「AIデータセンターは日本で成立するのか」をテーマに、次世代インフラの要件や市場動向を紹介。  
 Email : [gdc-pmkj@ntt.com](mailto:gdc-pmkj@ntt.com)  
 URL : <https://services.global.ntt/en-us/services-and-products/global-data-centers>

**NTT スマートコネクト**

NTT スマートコネクトは西日本最大のIX拠点である堂島を中心に大阪、福岡でデータセンターを運営しております。当社データセンターの特徴は 1. アクセスの良さ: 当社のデータセンターは、大阪/福岡中心部にあり、最寄り駅から徒歩圏内とアクセス性が抜群です 2. 低価格・高品質な相互接続環境: 通信ケーブル専用の地下トンネル(とう道)を利用した、当社データセンター間接続サービスにより、低価格かつ高品質な事業者間接続が可能です 3. 柔軟なリモートハンド: 専門スタッフが24/365でお客様の運用をサポート。  
 TEL : 06-6147-5192  
 Email : [info@mcnet.ad.jp](mailto:info@mcnet.ad.jp)  
 URL : <https://www.nttsmc.com/>

**NTT データ**

本展示では、スマートファクトリーやAI活用を実装するためのインフラと技術検証環境を紹介しました。高性能GPU・液冷に対応し、短納期・省スペースで導入可能なコンテナ型データセンターにより、低遅延かつセキュアなデータ処理を実現します。あわせて、次世代冷却技術を検証できる「Data Center Trial Field」を通じ、AI・HPC時代のデータセンターにおける冷却・省エネ・運用課題への具体的なアプローチと、企業連携による技術検証の取り組みを提案致しました。  
 Email : [facility\\_consulting@kits.nttdata.co.jp](mailto:facility_consulting@kits.nttdata.co.jp)  
 URL : <https://www.nttdata.com/jp/ja/>

**NTT ドコモビジネス**

NTT ドコモビジネスのブースでは、高発熱化が進むAIワークロードに対応する液冷対応のデータセンターサービス「Green Nexcenter®」や分散配置・短期導入が可能なプライベートAIデータセンター(コンテナ型データセンター)のご紹介に加え、新たに東京都心に建設を開始した都心型のAIデータセンターを紹介。  
 Email : [dc-promotion@ntt.com](mailto:dc-promotion@ntt.com)  
 URL : <https://www.ntt.com>

**NTT ファシリティーズ**

データセンター空調を、製品ではなく「ソリューション」として考える。NTT ファシリティーズは、世界各国のデータセンター空調分野におけるリーディングカンパニーと事業提携し、多様で競争力あるデータセンター用空調製品を日本市場に提供しています。本展示会では、AI用データセンターに不可欠なCDUや液冷用SUS二次配管の実機をはじめ、空冷チラーやハイブリッドドライクーラーといった熱源機器、空調機(FWU)の模型、さらにはポンプなどの付属機器までをトータルで展示。これにより、個々の製品という枠を超えた「空調システム全体のソリューション」として紹介した。  
 URL : <https://www.ntt-fc.co.jp>



**ENEOS**

ENEOSは、グループ長期ビジョンに掲げた、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」の両立に向けて挑戦しています。カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みとして、2024年4月にデータセンター向けサーバー液浸冷却液「ENEOS IX シリーズ」を発売しております。今後もその開発で培った液浸冷却技術や、長年の潤滑油製造で得た添加剤処方技術の知見を活かした商品開発を行い、提案してまいります。  
 URL : <https://www.eneos.co.jp/>

**エフ・アイ・ティー・パシフィック**

データセンターの運用・運営を効率的に行うDCIM製品「VM7 iDC Visual Manager」を展示。データセンターやサーバールームのラックや電源設備、配線接続等の物理管理機能を有すると共に、環境監視システム等の外部システムと連携することで、データセンターのリソースを一元管理できます。また、「VM7 iDC Visual Manager」を活用することで、ラックの予約管理やラック利用状況のレポート作成、NW配線設計、電源シミュレーションなどの業務に役立てられます。  
 TEL : 03-5820-7021  
 Email : [cfm@fitpacific.com](mailto:cfm@fitpacific.com)  
 URL : <https://vm7.fitpacific.com/idcvm/>

**オージス総研**

オージス総研のデータセンターサービスは、物理サーバーからクラウド上のシステムまで、まとめて運用できる代行メニューが充実しています。システム担当者様の夜間・休日対応負担を引き受けます。AWSシステムに対する監視、障害対応、サービスデスク、保守、作業代行を行うITIL4をベースにしたマネージドサービスも提供します。オンプレミス環境においてもDaigasグループで20年以上の運用実績があり、安定した運用サービスを提供します。・Daigasグループ運用で培った高度で高品質なマネージドサービス・自動化

出展社情報 (50音順掲載)

/AIを活用した安定したシステム運用・経験豊富なSEがサポート  
 TEL : 06-6584-0011  
 Email : OD\_DC\_SE@ogis-ri.co.jp  
 URL : <https://www.ogis-ri.co.jp/product/datacenter.html>

**音羽電機工業**

近年、データセンターには設備保護やレジリエンスの重要性が求められております。当社は長年にわたり培ってきた雷保護対策技術を基盤に、重要なインフラを支えるソリューションを提供してまいりました。本展示会では、データセンターの電源・通信・制御システムを守るための最新の雷サージ対策製品・ソリューションを中心に紹介。  
 TEL : 03-6722-0108  
 Email : sales@otowadenki.co.jp  
 URL : <https://www.otowadenki.co.jp>

**オブテージ**

いま注目されている、通信サービスやIXへのアクセスに優れた「コネクティビティデータセンター」。オブテージは、クラウド活用の進展、AIなど新たな時代に向け、当社強みである光ファイバによるネットワークを備えたコネクティビティデータセンター (OC1)を大阪に2026年1月に運開。  
 URL : [https://optage.co.jp/business/service/datacenter/location/sonozaki/lp\\_jp.html](https://optage.co.jp/business/service/datacenter/location/sonozaki/lp_jp.html)

**オブテックス**

オブテックスは、世界トップクラスの検知性能と幅広いラインアップを誇る物理的ハイセキュリティシステムを提供するメーカーです。入退室を制限したい区画への機器導入や、テロ行為・業務妨害となる故意的な不正行為など物理的な侵入対策にご関心のあるユーザーを対象に、当展示会では国内外のデータセンターで採用実績のある最新のセンサー機器や監視システムを展示。  
 TEL : 03-5733-1722  
 Email : oj-solution@optex.co.jp  
 URL : <https://www.optex.co.jp>

**オプトロンサイエンス**

光通信分野におけるグローバルリーダーEXFO社の最新テスト・測定ソリューションを展示いたします。急増するデータセンターのトラフィックに対応するためには、光ファイバーネットワークの高速化と信頼性の確保が不可欠です。本展示では、特にデータセンター環境に最適化された光ファイバテストをメインにご紹介。ユーザーのネットワークインフラの構築と運用を強力にサポートする。  
 TEL : 03-5800-1341  
 URL : <https://www.opt-ron.com/>

**片山ナルコ**

片山ナルコ(株)は、Direct Liquid Cooling シ

ステムを最適化し、WUE やPUE などの運用目標と持続可能性目標の達成に貢献するソリューションを提供する。

①冷却水を24時間365日連続モニタリングする3D TRASAR® for Direct to Chip (実機展示中!) プロピレングリコール濃度を最適管理し、腐食やスケールなどの障害を防止します。②Direct Liquid Cooling システムの冷却剤: プロピレングリコール (25%/90%) セミナーでも3D TRASAR® for Direct to Chip を活用したソリューションを紹介。  
 TEL : 06-6321-7306  
 URL : <https://katayama-nalco.jp/>

**鎌倉製作所**

コンテナ型データセンター向けハイブリッド空調機「AirX」は、次世代データセンターに求められる省エネルギー性と高い冷却性能の両立を目指す新しい空調ソリューション。パネルやムービーによるコンセプト展示を行った。3つの冷却方式を自動切り替え 外気温に応じて冷却方式を切り替え省エネ運転・中間期および冬期は外気冷却・夏期は地下水を利用した冷水コイルで省エネ・冷媒を利用した直膨コイルで、最も暑い時期の冷却をアシスト一般空調機に比べ年間消費電力は約半分 40kW と高い冷却能力  
 コンテナ型データセンターに設置可能なコンパクト設計  
 Email : airx@kamakura-ss.co.jp  
 URL : <https://www.kamakura-ss.co.jp/>

**川崎重工業**

DC 向非常用発電には川崎重工業ガスタービン発電設備が最適です。高起動信頼性・省スペース・大電力給電及び急負荷変動追従性・近隣への環境対策・充実の保守体制など弊社の豊富な実績からユーザーへの提案が可能です。  
 TEL : 03-3435-2277  
 Email : kms\_info\_g@khi.co.jp  
 URL : <https://www.khi.co.jp/>



**河村電器産業**

「次世代モジュールデータセンターのご紹介〜DLC 対応・In-Row 冷却で高効率を実現〜」 < I I J 様共同開発品〜DX edge Cool Cube ~ > 当社は、最新のモジュール型データセンターを展示会に出展いたします。本製品は、DLC (Direct Liquid Cooling) 対応およびIn-Row 冷却対応により、従来の空冷方式を超える高効率な冷却性能を実現。さらに、コンパクト設計と柔軟な拡張性により、設置スペースの最適化と最小単位での導入が実現できます。  
 Email : DX-edge-Cool-Cube@kawamura.co.jp  
 URL : <https://www.kawamura.co.jp/>

**関電エネルギーソリューション**

データセンターの運営に不可欠なユーティリティ設備を、豊富な経験を持つ設備のプロフェッショナルが設計から運用・保守、更新までトータルでサポートします。今回の展示では、設備の異常を早期発見する「遠隔監視サービス」と、「受変電設備の更新」について紹介。更新提案では、綿密な計画による停電時間の最小化、工事期間中の供給信頼度の最大化、そして経験豊富な技術者による不具合発生時の迅速な対応まで、ユーザーのあらゆる悩みを解決するサポート内容をパネルで詳しく解説した。  
 TEL : 050-7105-0147  
 URL : <https://www.kenes.jp/>

**カンネツ**

生成AI時代、データセンターは本格的な「液冷」へ “止めないインフラ、信頼性重視のソリューション コンテナ型冷熱源ユニット (ドライクーラー/チラー/メカニカルルーム) 主要の冷却機能に加え、液質調整や運転記録などの運用支援機能を40ft コンテナ内に統合配管・機器設置工事を大幅削減し、高効率な冷却・循環システムを短期間で構築できます” CDUを活かす、冷熱源・検証 高負荷対応ロードバンク (サーマル試験装置) AI サーバー級の熱負荷を精密に再現 実機導入前のシミュレーションにより、液冷システムの信頼性をデータで立証します「熱管理のスペシャリスト」として、最適な製品群を提案します。  
 TEL : 06-6445-8055  
 Email : sales@kannetsu.co.jp  
 URL : <https://www.kannetsu.co.jp>

**キャノンITソリューションズ**

2024年12月より提供を開始した液冷方式ハウジングサービスは、生成AIやハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) などの分野で高まる高性能/高発熱サーバーへのニーズに応えるものとして、多くのお客さまより高い評価を得ています。本展示では、液冷方式などの当社のデータセンターサービスについてお話しします。また、キャノンITソリューションズのITインフラサービス「SOLTAGE」についても紹介。

## 出展社情報 (50音順掲載)

TEL : 03-6701-3513  
 URL : <https://www.canon-its.co.jp/solution/industry/cross-industry/soltage/idc>

## 京セラコミュニケーションシステム

ゼロエミッション・データセンター 石狩は、24/7 カーボンフリー電力で稼働するデータセンターとして、2024年10月に開所しました。石狩湾新港洋上風力発電所の電力と、データセンター近隣の当社所有の太陽光発電所の電力をリアルタイムで調達・使用しています。再エネ100%の電力を使用しているため、IT機器を預けていただくことで、CO2削減・カーボンフリーへ貢献をします。また、災害リスクの低い北海道石狩市という立地を活かし、BCP・DR対策や運用サービスを通じて、より強固な事業継続性を支援する。  
 URL : <https://biz.kccs.co.jp/service/zero-emission-dc>

## 共同カイトック

共同カイトック/ デンソーが共同出展。データセンター向けサーバー給電用バスダクト「SV-F型バスダクト」高効率給電と柔軟なレイアウト対応で安定した電源供給を実現。DCIM「garmit」及びラック内移動式カメラ「PatRack19」PatRack19はラック内を昇降移動しながら、LEDランプ、NWポート、機器銘板、搭載位置等を遠隔監視、現地巡回による目視確認が不要になります。上下に移動しながら監視し、LEDやアラームを遠隔で確認、障害対応を迅速化。バスダクトの電流値監視も可能

TEL : 03-6825-7030  
 URL : <https://www.ky-tec.co.jp/>

## Quantum Corporation/ヒビノグラフィックス

Quantum / ヒビノグラフィックスは、テープストレージ「Scalar Tape Libraries」を中心に、長期データ保管とランサムウェア対策を両立するデータ保護ソリューションをご紹介します。テープアーカイブにより、保管中の電力消費を抑えながら、物理エアギャップによるオフライン保護を実現。電力コスト削減とセ



キュリティ強化を同時に実現する新しいアーカイブ基盤を提案。  
 TEL : 03-6628-7841  
 Email : [bsi\\_sales3@hgx.co.jp](mailto:bsi_sales3@hgx.co.jp)  
 URL : <https://hgx.co.jp>

## 桑名金属工業

データセンター・生産プロセス冷却用省エネソリューション「チルドタワー®」を展示します。チルドタワーは補助チラーを内蔵したフリークーリングシステムで、10～30℃の冷水を供給する省エネルギー型冷水供給機器です。データセンターの高集積化と高発熱化が進み、液体を使った次世代の冷却技術のニーズが高まっています。チルドタワーをはじめとした弊社が取り扱う様々な配管システム機器を通じて冷却の省電力化に寄与し、グリーンデータセンターの推進と低炭素社会の実現へ貢献。  
 TEL : 03-6275-2502  
 URL : <https://www.kuwana-metals.com/>

## コーアツ

ガス系消火設備は、データセンターなどの水で消火できない施設に適した消火設備であり、火災からかけがえのない人命・財産を守ります。当社ブースでは、データセンター向け製品として、大規模な通信障害などのリスクの低減を図る静音形噴射ヘッドなどを実機で展示。  
 TEL : 072-782-8561  
 URL : <https://www.koatsu.co.jp/>

## Colt データセンターサービス・ジャパン・オペレーティング

Colt データセンターサービスは、グローバルハイパースケーラーや大手企業向けにデータセンターを設計・構築・運用するデータセンタープロバイダーです。英国、欧州、APACの11都市で13拠点を展開し、さらに19拠点を開発中です。安全性・拡張性・接続性に優れたインフラで、ユーザーの成長を支えます。25年以上の実績を誇り、サステナビリティにも注力。SBTiのネットゼロ基準に沿った排出削減目標を掲げ、環境負荷低減を推進しています。グローバル規模の成長を支えるColt DCSのポートフォリオを紹介。  
 URL : <https://www.coltdcs.jp>

## コンサス

一個単位から設計・製造を行っております。社内で一貫生産をしている為、配管ラインのお困り事をワンストップで提案が可能。ご発注時の最低ロットは基本的には無く、実証実験～量産までを柔軟にサポートします。②バルブ・プレハブ配管(ガタリ)を一括で調達可能バルブ～プレハブ配管までを一括で選定頂くことにより、DLC配管のモジュール化を実現し、調達の効率化・施工品質の安定化に寄与します。③多様な配管接続・規格への対応 データホールとIT機器を繋ぐ際に生じる、接続・規格の相違点に関しても、食品・医薬等のクリーン配管が要

求される分野で長年培ってきたノウハウを基に最適な配管を提案します。  
 TEL : 03-5619-5107  
 Email : [consuss@consuss.co.jp](mailto:consuss@consuss.co.jp)  
 URL : <https://www.consuss.co.jp/>

## 佐賀IDC

災害の少ない佐賀から 堅牢なファシリティとセキュリティ、高品質の運用管理、そして創造的なデータ活用のアイデアで、ユーザーのビジネスを広く深くサポートします。ハウジングサービスやクラウドサービスの併用など、ユーザーのご要望に応じて、柔軟なカスタマイズが可能です。ムダのない効率的なサービスを提供します。  
[https://www.sagaidc.co.jp/index.php/service\\_top](https://www.sagaidc.co.jp/index.php/service_top)  
 TEL : 0952-37-1213  
 Email : [sales@sagaidc.co.jp](mailto:sales@sagaidc.co.jp)  
 URL : <https://www.sagaidc.co.jp/>

## さくらインターネット

本展示会では、日本最大規模に大容量で高速な通信回線を備えた「石狩データセンター」をはじめ、柔軟で高い拡張性をもつ「さくらのクラウド」、そして生成AI開発に最適なGPUクラウドサーバー「高火力」シリーズをご紹介します。北海道の涼やかな気候を活かした効率的な冷房方式や再生可能エネルギー活用など、持続可能なデータセンター運用の取り組みも提案致しました。  
 TEL : 06-6476-8790  
 Email : [support@sakura.ad.jp](mailto:support@sakura.ad.jp)  
 URL : <http://sakura.ad.jp/>

## The POS

私どもは、1990年創業、日本及び韓国で豊富な導入実績を持つサーバーラックメーカーです。本展示会では、データセンター向けに最適化したLMU (Lighting Alarm & Monitoring Unit) 搭載ラックとインテリジェントPDUを紹介しました。ラック内の温度・湿度・電流・電圧・電力量をリアルタイム計測し、前面



出展社情報 (50音順掲載)

LMUに統合表示。しきい値設定により青→黄→赤で段階的にアラート発報を行います。SNMP / Modbus 対応でZabbix等の監視基盤と連携可能。单相および3相(スター/デルタ)電源に対応し、高信頼な電源監視と運用効率向上を実現します。  
TEL : 048-871-2921  
Email : kingo@pos-rack.jp  
URL : <https://jp.pos-rack.com/>

**三桜工業**

三桜工業では、データセンターにおいて、特に液冷導入を検討中の事業者、施工会社、各種関係企業が抱える「液漏れリスク」と「運用性」の両立という課題に対し、独自開発・自社生産による冷却システム製品をトータルソリューションとして提供しています。今回の展示では、GPU・GPU向けの冷却製品群に加え、ボールバルブ継手「BVJシリーズ」の1.5インチバージョンが初公開となります。また、液冷に加えて空冷環境向けのソリューションも紹介しました。空冷ラックに後付け可能で、ラック内温度に応じてフラップが自動開閉する「アクティブフラップドア」は、冷却効率向上やPUE改善に寄与する製品です。  
Email : pcl@sanoh.com  
URL : <https://thermal-solution.sanoh.com/>

**三和エナジー**

電力エネルギーへの依存が高まる現代社会において、災害時の石油燃料供給はデータセンターの事業継続を大きく左右します。有事に想定される石油供給遅延や、非常時のために備えた発電機の不具合といったリスクに対し、三和エナジーは燃料流通の現場で培った実務経験と設備保守の知見を基に、トラブルを未然に防ぐための具体策を提案します。災害発生時にも「止めない」ための備えとは何か。他社には真似できない、三和グループの圧倒的な災害時燃料配送インフラと対応力を紹介。  
TEL : 045-548-8838  
Email : sanwaeess@usami.email  
URL : <https://sanwa-energy.com/>

**JRシステム (鉄道情報システム)**

弊社はJRの座席予約・販売システムなどの運用を担っている会社です。展示ブースでは、弊社データセンター事業について各種サービスについてご紹介。  
TEL : 03-5371-0128  
Email : dc-info@jrs.co.jp  
URL : <https://www.jrs.co.jp/>

**CTC ファシリティーズ**

「DC ファシリティーズトータルソリューションで、ユーザーのデータセンターサービスをサポート」 CTC ファシリティーズは、1988年からデータセンター (DC) に於ける施設・設備の運営・運用及び施工・監理に携わってき

た経験・ノウハウを活かし、サーバーラームを中心とした課題解決に向け「DC ファシリティーズトータルソリューション」を提供しています。熱だまり解消・省エネ向上といった環境改善に、当社の強みである詳細なモデル作成を基にしたCFD解析をもとに提案から対策実施まで貢献いたします。また、GPUサーバーなど高発熱機器導入時の影響度分析や、DLC設備全体の液体を含む流体解析も含む基本計画策定業務  
Email : ctcf-bp@ctc-g.co.jp  
URL : <https://www.ctcf.co.jp/>

**シーメンス**

シーメンスは、業界の課題に対応する統合ソリューションを紹介し、設置時間を短縮して効率を高めるE-House およびSkid Solutionsの技術デモを行います。VR体験では、E-House とSkid Solutions の施設を両方仮想体験でき、現地相談も用意しています。  
Email : industry.service.skk@siemens.com  
URL : <https://www.siemens.com/jp>

**篠原電機**

篠原電機ブースでは「社会インフラを支えるITインフラソリューション」をテーマに、生成AI、分散クラウド、多様なエネルギー活用などの最先端技術に対し、ITソリューションにより社会のさらなる発展に役立てていきます。ブース内には、二相液浸装置の最新モデル実機やコンテナデータセンター模型を展示予定です。そのほか、弊社が手掛けるソリューションをパネル展示にて提案致しました。篠原電機は、ITの世界において培ってきた技術と経験を活かし、ユーザーの課題に対して様々なソリューションを提案し解決に導きます。  
TEL : 06-6927-0008  
Email : it-s@shinohara-elec.co.jp  
URL : <https://www.shinohara-elec.co.jp/products/?bun=30>

**住友電気工業**

大陸間の海底ケーブル網から幹線網・メトロ網、DC棟間、DC棟内まで、幅広い製品群を提供する住友電工から未来のデータセンターに、必要な高性能かつ効率的なネットワーク環境を実現するための製品をご紹介します。ぜひ当社ブースへお立ち寄りいただき、最新の技術をご体感ください！展示予定製品：現地調査不要、融着接続機で組み立てる低損失な現地組立光コネクタ「Lynx-CustomFit MPO」/高耐久性・高品質・コスト削減に貢献する「EBO Patch Cord」技術を用いた光コネクタ、冷却システム用ホース、受変電設備 など。  
TEL : 03-6406-2650  
URL : <https://sumitomoelectric.com/jp/>

**スリーエムジャパン**

3M™ エクスパンデッド・ビーム・オブティカル (EBO)は拡大ビームによりゴミ・ホコリの影響を最小限に抑えます。クリーンでな

い環境においてもコンタミの影響を最小化します。敷設時のコネクタの検査やクリーニング時間を削減し、場合によっては不要にすることができます。従来のコネクタでは1個あたり約3分かかる接続時間を、わずか約30秒に短縮することが可能です。シングルモードおよびマルチモード接続用の各部品、144ファイバー以上のファイバー接続を可能とする高密度コネクタもご用意しています。  
TEL : 0570-022-123  
URL : [https://www.3mcompany.jp/3M/ja\\_JP/data-center-jp/applications/interconnect-optical/](https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/data-center-jp/applications/interconnect-optical/)

**セイシング**

大手データセンターに採用されている以下の鉛電池を展示いたします。【C&D Technologies】 DC向けUPS用鉛電池で世界的な採用実績を持つ米国メーカー。高信頼・長寿命設計により、無停止が求められるミッションクリティカル環境の安定稼働とTCO削減を実現します。【FIAMM Energy Technology】 欧州を代表するUPS用鉛電池メーカー。データセンターでの豊富な運用実績に裏付けられた高信頼性と品質で、重要インフラの継続運用と将来の拡張ニーズに応えます。  
TEL : 045-342-0515  
Email : info@sayingthing.co.jp  
URL : <https://www.sayingthing.co.jp/>

**セインジャパン**

セインでは、データセンター向け 液冷・水冷用カップリング (カブラー/クイックディスプレイコネクタ(QD)とも呼ばれる)を幅広い製品ラインナップで提供しています。Open Compute Project (OCP) に参画しており、プロジェクト内で開発された世界標準規格(UQD, LQC, UQDB, BMQC)に準拠した4シリーズのほか、セイン独自の「低圧力損失・大流量・液だれなし」を特長とするシリーズを提供しております。高度な冷却ニーズに対応し、効率的かつ信頼性の高い冷却ソリューションを実現します。  
TEL : 0297-21-1971  
Email : sales.japan@cejn.com  
URL : <https://www.cejn.com/ja-jp/>

**セコムトラストシステムズ**

セコムトラストシステムズのブースでは、当社が提供するデータセンターソリューションをご紹介します。2025年10月にオープンした「セキュアデータセンター@TC4」をはじめ、堅牢なセキュリティ、災害に配慮した設計、再生可能エネルギー100%を実現し、信頼性と環境性能を両立した施設をご案内します。さらに、ATBeXによるクラウド接続や柔軟な運用支援で、DX・AI時代に対応するIT基盤をご紹介します。  
Email : sts-marke@secom.co.jp  
URL : <https://www.secomtrust.net/>

## 出展社情報 (50音順掲載)

### 摂津金属工業

「SETTSU」摂津金属工業では、生成AI等を使用される水冷タイプのGPU サーバー向けとして、新製品のデータセンターラックSDR シリーズの奥行を伸ばしたサイズ (W800×H2450 (52U)×D1500mm)のラックを展示。デルタ電子製のマニホールドやCDUの実機も搭載致します。

TEL : 06-6992-2331

Email : eigyou@settsu.co.jp

URL : <https://www.settsu.co.jp/>



### センクシア

センクシアはデータセンターやサーバーラーム等に求められる耐震性能や帯電防止性能のニーズに対し、独自の技術により、高品質・高機能のフロアシステムを提供しております。今回はサーバーをはじめとする機器転倒防止商品として、スラブ埋め込みレールのご紹介をしております。また、自立型ケーブルラック用フレームなども手掛けております。

TEL : 03-4214-1931

Email : floor@senqcia.com

URL : <https://www.senqcia.co.jp/products/floor/>

### センコーアドバンス

センコーアドバンス株式会社は、光コネクタで世界トップクラスのシェアを持つフリーディングカンパニーです。【展示内容】①データセンターオートメーションを強力に推進するXENOptics社のオートメーションパッチングソリューションXSOSシリーズ ②都市型DC/高密度配線を支える次世代型光コネクティブティ、通称VSFFである「CS/SN/SN-MT」コネクタ ③生成AI/LLM コンピューティング向け光コネクタ「EZWAY」シリーズ

TEL : 03-5825-0911

Email : Sales-Japan@senko.com

URL : <https://www.senko.com/>

### ソフトフロー

ソフトフローは、熱流体解析 (CFD) に特化した受託解析サービスを提供するエンジニアリング会社です。データセンター分野においても数多くの実績があり、データホールの温

度・気流解析、室外機やチラーからの排熱およびショートサーキットの評価、発電機からの排熱・ガス拡散解析、煙突からの輻射熱評価、バッファタンクの取水温度予測など、さまざまな解析事例をご紹介します。

TEL : 042-682-5209

Email : sales@softflow.jp

URL : <https://www.softflow.jp/>

### ダイキン工業

ダイキン工業(株)は空調機器メーカーであると同時に、フッ素化学製品をはじめとした高性能材料のメーカーとして、グローバルで半導体、自動車、情報通信・端末分野などの様々な産業分野を支えています。現在、データセンターの省エネなどの技術課題や災害対策に対して、フッ素化学製品のもつ優れた化学的安定性、絶縁性、光学特性などの特徴を活かしたソリューション提案を行っています。次世代冷却技術として期待される液冷・液浸冷却用フッ素系液体DAISAVEをはじめ、高電圧バスター向け塗料や延焼防止の樹脂添加剤など的高機能材料をご紹介します。

TEL : 03-3520-3047

### DAIKEN

DAIKEN サーバルーム用システム天井は、従来品と比べ2.2倍の強度を持った堅牢なシステム天井です。新たな仕様は耐荷重と耐震性が向上し、通信系と動力系ケーブルを最大300Kg/mまで天井から吊り下げることが可能にしました。ケーブルラックは縦横に走る天井フレームから吊り下げること、フレキシブルなレイアウト設計が実現。二重床を不要にし、建設コストの低減につながります。当社はユーザーの耐荷重、耐震条件に合わせた提案。

TEL : 03-6271-7767

URL : <https://www.daiken.jp>

### 大和ハウス工業

大和ハウス工業のパーパスに『社会インフラと生活文化を創造する』という文言があります。データセンター構築はまさに暮らしや文化を創造するために必要なA1のための社会インフラです。2022年に当社のデータセンターを総括するブランド『DPDC (ディー・プロジェクト・データセンター)』をリリースさせて頂き、DPDC 印西パークなどのハイパースケールのデータセンターパークや西東京にはデータセンターキャンパス、都市型のデータセンターも2024年に開所致しました。多岐に渡るご要望にお応えをして、モジュール型から郊外型など、幅広い種類のデータセンターを開発していきます。

TEL : 06-6346-2111

URL : <https://www.daiwahouse.co.jp/index.html>

### 高千穂交易 / AMAG Technology

高千穂交易は、世界標準の入退室管理システ

ムを日本国内で多数導入してきた実績があり、そのノウハウを活かしながらデータセンター向けのセキュリティを提案しております。今回出展する取扱い商材のAMAGは、入退室管理・映像監視・ID管理を統合する「Symmetry」プラットフォームが強みで、柔軟な連携、モバイル認証対応、グローバル規格準拠で、拡張性と監査対応に優れたセキュリティ運用を実現します。またネットワークセキュリティの事業も手掛けており、日本で初のディストリビューター契約締結したランサムウェア対策Halcyonをご紹介します。多層防御や暗号化データの復旧ができる高度なソリューションです。

TEL : 03-3355-1117

Email : tkinfo@takachiho-kk.co.jp

URL : <https://www.takachiho-kk.co.jp/solution/business/>

### 高文

展示製品①：落雷の発生を抑制可能な避雷針・PDCE 避雷球 PDCE 避雷球は一定エリアへの落雷を抑制できる全く新しい避雷針です。国内4,500台以上の導入実績があり、公共施設・鉄道・高速道路・通信設備・工場・学校など幅広く導入され、その効果と安全性が高く評価されています。展示製品②：Fluke Datacenter Solution データセンター向けケーブル/ネットワークテスターを中心に、赤外線カメラ、DMM、電力品質アナライザーを展示します。DCの設計・構築・運用・保守の各フェーズにおいて、技術者の確実な検証、安定稼働・予防保全に貢献するFlukeの計測ソリューションをご紹介します。

TEL : 03-3252-9111

Email : expo@takabun.co.jp

URL : <https://takabun.co.jp>

### 高松コンストラクショングループ

高松コンストラクショングループはグループパーパス「つながりで響きあい、オンリーワンの価値を生み出す」とし、そのシナジー効果によって新しい価値を創り出していくことを強みとしています。高松グループは20社からなる建設業の専門企業集団ですが、DC事業へは、青木あすなる建設、高松建設、みらい建設工業、高松都市開発が中心に取り組んでいます。電力の優先共有を得られるDC候補地の提案から設計・施工・維持管理・改修に至るまでのあらゆる面をワンストップでサービスを提供します。オンデマンドに提供することが必須となってきた市場ニーズに対して、工場製作ウエイトを高めたモジュール提供サービスの開始を計画しています。

TEL : 03-3455-8108

URL : <https://www.takamatsu-cg.co.jp/>

### 辰巳菱機

環境にやさしく、安全。そして省スペース。乾式負荷装置のパイオニア“辰巳菱機”。ユーザーの希望される装置を開発・設計・製作し

出展社情報 (50音順掲載)

て販売します。40年超の経験と実績と、23に及ぶ 負荷装置の特許に裏付けされた革新的な技術。すべてのお客さまの課題を解決します。DCの負荷試験サービスについては、千葉県印西市地区はもとより、都内・都下各DC及び多摩地区、更には関西大阪周辺の各DC内設備において弊社独自開発の集中制御機器を使った高効率の試験を鋭意実施しております。負荷試験のご用命は是非当社をご指名ください。

TEL : 03-3648-3174  
 Email : eigyo@ttmrk.co.jp  
 URL : http://www.ttmrk.co.jp

**ダンフォス**

当社はユーザーと協業し、以下の製品技術を用いてデータセンターソリューションの性能向上を実現します：・チップ直冷・ラック冷却向け高性能流体搬送製品・精密な温度・湿度制御を実現する先進HVAC製品 なぜ液体冷却なのか？性能向上、エネルギー効率化、コスト削減を実現。ダイレクト・トゥ・チップ液体冷却は、設置と保守を簡素化しながらデータセンターの潜在能力を最大限に引き出します。解き放たれるパフォーマンス 液体冷却の熱効率と省スペース性により、チップ密度を高めつつ、高性能プロセッサをピーク負荷時でも冷却し、スムーズに稼働させます。つまり、最も必要な時に一貫した演算能力と性能向上を実現します。

TEL : 03-6433-2030  
 URL : https://www.danfoss.com/ja-jp/

**長 大**

2020年代に入り、AIの進化に伴って、AIを支えるGPUサーバの需要が急速に拡大しています。この需要拡大により、従来型のデータセンターではGPUサーバの設置スペースが不足し、また、処理の現場に近い場所にサーバを配置する「エッジコンピューティング」の潮流も相まって、短期間で設置可能なマイクロデータセンターのニーズが一段と高まっています。当社は量子コンピュータ分野において、GPUサーバを用いた擬似量子コンピューティングを推進しています。AIと共に量子計算が身近な環境で活用される未来を見据え、2023年にマイクロデータセンターの開発を開始、2025年より販売を開始した。

TEL : 035-3532-8612  
 URL : https://www.chodai.co.jp/products/case/015316.html

**TIS インテックグループ**

TIS インテックグループは、東京・大阪・富山の3エリアに9つのデータセンターを保有しています。それらのデータセンターは、国内最大級かつ優れたネットワークで接続され、ユーザーの重要なIT基盤として活用されています。本展示会では、GPU対応可能な高セキュリティの都市型データセンターとして、東京エリアのデータセンターと関連ソリューションをご紹介します。

URL : https://www.einswave.jp/service/datacenter/

**DHL グローバル フォワーディング ジャパン**

私たちDHL グローバルフォワーディングは、世界のロジスティクスをリードするDHLグループのフォワーディング部門として、世界中にひろがるネットワークを最大限に活用し、航空・海上・陸上輸送のスペシャリストとしてユーザーの貨物を世界中に輸送しています。データセンター向けには、精密機器やインフラ設備など、輸送品質を徹底追求したロジスティクス、設置まで幅広くサービスを提供しています。厳格な管理体制による納期厳守はもちろん、安全・確実な設置サービスまでワンストップで対応します。また物流における二酸化炭素削減に寄与できるGoGreenソリューションで運用の信頼性と環境配慮を両立します。

TEL : 03-5247-5551  
 URL : https://www.dhl.com/jp-ja/home.html

**DMM.com**

3Dプリント事業部では、ユーザーの作りたいものに関する情報をもとに、弊社保有の3Dプリンターで造形を代行するサービスをご提供しています。イベント用模型やノベルティなど、1点から製作可能です。10年以上のノウハウを持ち、国内最大規模のプラットフォームを持つDMMの3Dプリントサービスにお任せください。エナジー事業本部では、太陽光発電システムや蓄電池システムを中心とした自然エネルギー事業を10年以上展開しております。長期の事業経験を活かし、データセンター業界でも課題となっている安定した電力供給や省エネ施策、蓄電池システムの導入等各ソリューションに関して、最適な提案をさせていただきます。

TEL : 050-5490-7403  
 Email : inf-dc@dmm.com  
 URL : https://dmm-corp.com/business/

**DC ASIA**

DC ASIAのブースでは、下記の御案内ならびに御相談の受付をしております。

- 液冷システム関連製品：リアドア空調、CDU、InRow空調などを中心に、弊社取り扱い製品の御案内ならびに御相談受付
  - DCIM：データセンター・サーバールームの監視や管理についての御相談受付
  - データセンタートレーニング：Data Center Dynamics社（英）がグローバル展開しているDCD>Academyの御案内
- TEL : 03-6362-6990  
 Email : info@dcasia-ltd.com  
 URL : https://www.dcasia-ltd.com/

**TB グローバルテクノロジーズ**

360°回転接手により、配管を可動化します。ホースの根元に取り付ける事で取り回しの改

善 ねじれの吸収によりホースへのダメージを軽減します。可動配管による施工性の向上やカップリングとの組み合わせで着脱の効率UP等 アイデア次第で様々な活用方法がございます。

TEL : 03-6633-5276  
 URL : https://www.tbgtech.co.jp/

**ディーレックス**

Open Compute Project (OCP) 用OR-V3ラック。21Inchと19inchの2ラック。・400Vdc電源やOR-V3用33kW最新の集中電源。・400Vdc・800Vdcの部品関係。・直流サーバー。【パネル】・OCPの歴史と電圧・容量の推移・ワットビット対応のAI新直流工場建設【デモ】・高電圧直流給電で危険とされる、中点接地内蔵地絡検出器・デモンストレーション・高電圧直流給電で危険とされる、アーク抑止回路・デモンストレーション

URL : https://d-rex315.co.jp/

**デジタルエッジ・ジャパン**

当社は、アジアにおいて急成長するデジタルエコシステムとAI需要に応えるべく設立された、信頼性と先進性を兼ね備えたデータセンター・プラットフォーム企業です。エネルギー効率に優れた最新鋭の設備を活用し、AIワークロードにも対応可能な高い拡張性を持つデータセンターを開発・運用しています。昨年夏にオープンした最新拠点「TYO7」では、次世代インフラと高度な運用技術を実装。また、サステナビリティへの取り組みとして、再エネの活用や冷却技術の最適化にも注力しており、地域社会と調和した成長を実現しています。

TEL : 03-6625-5577  
 Email : marketing.jp@digitaledge.com  
 URL : https://www.digitaledge.com/jp/

**データセクション**

アジア・パシフィックにおいてトップクラスのAIデータセンターをグローバルで構築。NVIDIA製B300のGPU10,000個の調達に成功し、200ExaFLOPS（エクサフロップス）を超える計算性能（FP4）を実現しています。NVIDIAとGPUサーバーを共同開発している台湾メーカーとも業務提携しており、優先的にコストパフォーマンス良く、GPUサーバーの提供が可能。自社で独自開発している純国産AIクラウドスタック「TAIZA」により、GPUのリソースを効率的に活用しています。

Email : aidc-contact@datasection.co.jp  
 URL : https://www.datasection.co.jp/

**東亜電気工業**

弊社はグローバルにて、屈指のパッシブ型、アクティブ型リアドア及びCDU装置の国内唯一の代理店として10数年の経歴にて多くの実績を持っております。またそこから得られた貴重なノウハウを活用しながら、リアドア及びCDUの設置、配管の設計、保守メンテナンスサービスをご提供してきております。ま

出展社情報 (50音順掲載)

た、商社として関連部材のご提供もさせて頂いております。

TEL : 03-3834-0172  
URL : <https://www.toadenki.co.jp>

**東急建設**

ゼロへ挑み、ゼロから挑み、環境と感動を未来へ建て続ける。1959年の創業以来、暮らしに密着した幅広い事業を営む東急グループの一員として、「生活者に安心で快適な生活環境を提供すること」を目指してきた当社の取り組みについてお伝えします。また、データセンター設計及び施工を通じて培った「空冷/液冷サーバー対応のハイブリッド冷却システム」も出展。

TEL : 03-5466-5020  
Email : DCFCS@tokyu-cnst.co.jp  
URL : [https://www.tokyu-cnst.co.jp/tokyu-tech/tech\\_info/](https://www.tokyu-cnst.co.jp/tokyu-tech/tech_info/)

**東芝ユニファイドテクノロジーズ**

「電源管理をスマートに、業務効率を最大化！」データセンターの安定稼働を支えるサーバーラック電流監視システムを展示します。回路単位で電流を高精度に計測し、リアルタイムで異常を検知。Webベースの管理画面で簡単に状況を把握でき、過負荷防止や障害予兆の早期対応を実現します。高信頼性設計で運用リスクを低減し、業務効率化を強力にサポートします。

TEL : 03-4574-6876  
URL : <https://www.toshiba-dme.co.jp/dme/>

**TOKAI コミュニケーションズ**

データセンター運用40年のTOKAI コミュニケーションズが提供する「Smart Facility Manager」は、既存設備を活かして運営を進化させる空調AIシステムです。最大の特長は、メーカーや空調方式を問わず、今ある設備へ後付けで導入できる柔軟性にあります。自社開発のAIが稼働状況を常に監視、学習し、エネルギー効率を適切に高めます。日々の細かい温度調整を自動化することで、管理者の業務負担を着実に軽減でき、サーバーームの安定稼働を守りつつ、無駄のない効率的なエネルギー管理を実現いたします。

Email : SFM\_INFO@tokai-grp.co.jp  
URL : <https://tokai-sfm.jp/server/>

**長瀬産業**

長瀬産業は1832年に京都で創業した化学系専門商社です。世界約30カ国・地域に約100社のグループ会社を有し、化学品を中心に事業を展開しています。商社機能に加え、製造や研究開発機能を有し、「ものづくりの課題を素材(マテリアル)を通じて解決する」企業として、グローバル市場で価値を提供しています。データセンター関連では、液体冷却技術のマテリアルのリーディングカンパニーを目指し活動しております。

TEL : 03-3665-3210  
URL : <https://www.nagase.co.jp/>



**ニッキヤビ**

新型サーバーラック「AIRシリーズ」を初出展。GPUサーバー搭載を想定したAIデータセンター向けの最適なソリューションとして提案します。また、AIRラックの背面ドアには、高負荷サーバー向けの冷却効率と省スペース性を両立する「Active Rear Door Heat Exchangers (ADHxシリーズ)」を搭載。実運用を想定した展示を行った。

TEL : 044-766-2111  
Email : kurokawa@niccabi.co.jp  
URL : <https://www.niccabi.co.jp/index.html>



**ニッタン**

屋内位置情報システム「B Catch Now」は建物内の人、物の場所や火災時の火災の場所、設備等の異常などをPCやスマートフォンでリアルタイムに確認できるサービスです。災害時等の初動対応を支援します。火勢抑制フロアは、ガソリンによる火災の危険性を低減する為の防災機材で、散布されたガソリンを床下の閉じ込め、燃焼量を大幅に削減し火災の勢いを抑制します。超高感度環境監視システムは、空調換気を多数行っているサーバーームなどで、空気中に含まれる微量の煙粒子を検知することが可能な警報システムです。

TEL : 03-5333-7088  
URL : <https://www.nittan.com/>



**日東工器**

温調機器用冷却配管用迅速流体継手「カブラ」を出展します。①コンパクトゼロスピルカブラ ブラインドメイトタイプ サーバ水冷ユニット用。ラックに挿入するだけで、冷却水配管が完了します。②コンパクトゼロスピルカブラ 真ちゅうタイプ 手動接続・分離用 ③ゼロスピルカブラ、SP-AカブラType A 冷却水元配管用。

URL : <https://www.nitto-kohki.co.jp/>

**日東工業**

最新データセンターで不可欠な「高密度実装」や「冷却効率」に対し、国内メーカーならではの「堅牢性・施工性」を融合させたシステムラックで、長期的な安定運用を実現します。また、多様な現場ニーズに応える熱対策製品や、運用負荷を軽減する周辺オプションも実機を交えてご紹介。[展示品] AIデータセンターに適した液冷対応のサーバーラックおよび水冷リアドア・世界的な標準規格として注目される「OCP (Open Compute Project)」仕様に準拠したORV3ラック・エッジコンピューティングに適したクーラー実装型ラック「冷ラック」。

TEL : 03-6890-1757  
Email : tokyo\_it\_sales@nito.co.jp  
URL : <https://www.nito.co.jp/guide/joutsuu/>

出展社情報 (50音順掲載)

**日本製線**

ラック内の物理層の高密度化や容易な実装にご関心ございませんか。パッチコードの挿抜ミスや管理の手間等、お悩み事ございませんか。MPO 等光パッチコードの品質、納期にお困り事ございませんか。日本製線ブースでは、R&Mの物理層パッシブ系の光トータルソリューション製品群と、エフ・アイ・ティー・パシフィック社ソフトウェアによるDCIMソリューションと、日本製線の光MPO製品をはじめとする光及びメタルパッチコードラインナップ、を展示致します。物理層でお困りごとございましたら、是非お気軽にご相談くださいませ。

TEL : 03-3572-3471

URL : <https://nscable.co.jp/>

**ニフコ**

ニフコは「小さな気づきと技術をつなぎ、心地よい生活と持続可能な社会を創造する」会社です。ニフコのユニークな工業用プラスチックファスナーは、錆びない・軽い・扱いやすいというプラスチックの特長を最大限に生かし、金属製品が主流だった1970年代の産業界に大きな驚きを与えました。自動車向けに培ってきた金属代替樹脂化技術に応用した開発品を、データセンター向けに提案いたします。

TEL : 080-5972-7735

URL : <https://www.nifco.com/>

**日本ガイシ**

日本ガイシ独自のセラミック技術を使用したデータセンター向けの製品を出展します。①ニッケル亜鉛電池(ZNB®) 当社独自のセラミックセパレータを採用したニッケル亜鉛電池です。高出力高エネルギー密度が特徴で、蓄電池設置面積を削減できます。また水系電解液を使用しており安全性も優れています。展示ではZNBのUPS用蓄電池盤を紹介しました。②黒煙除去装置※製品化済 非常用ディーゼル発電機から排出される黒煙(す)を除去する装置です。当社が自動車向けで実績のある、ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)を搭載した装置を開発。ディーゼル発電機の上部に直接設置可能なコンパクト設計です。

TEL : 052-872-7181

URL : <https://www.ngk.co.jp/>

**日本ケイデンス・デザイン・システムズ社**

【キャパシティを最大化し、コストを利益に変えるCadence Reality DC】 Cadence Reality DCは、データセンター専用のデジタルツインプラットフォーム。詳細な物理シミュレーションで冷却・電力・荷重を定量評価し、DLC冷却にも対応。冷媒管路まで考慮した高精度モデルでキャパシティを効率化し、過剰投資や運用コストを削減。設計から非常時対策まで、ライフサイクル全体で利益を生む意思決定を支援します。

TEL : 045-475-2221

Email : [cdsj\\_info@cadence.com](mailto:cdsj_info@cadence.com)

URL : [https://www.cadence.com/ja\\_JP/home.html](https://www.cadence.com/ja_JP/home.html)

**日本シエナコミュニケーションズ**

Cienaは世界をリードするネットワークキング企業で、高速・低遅延・省電力な接続を実現する光ネットワーク機器、ソフトウェア、自動化ソリューションを提供しています。AIトラフィックやクラウドサービスの急増に対応し、データセンター間接続(DCI)から構内、DC内ネットワークまで、柔軟でスケラブルなインフラ構築を支援します。業界をリードするデジタルコヒーレント光伝送技術やCPO、AI駆動のマルチレイヤー管理ソリューションなどによりAI時代のDCとネオスケララー\*の成長を後押しします。(\*ネオスケララーとはAIワークロードを支える新たな成長セグメント)

TEL : 03-6367-3940

URL : <https://www.cienacorp.jp/>

**日本シーゲイト**

Seagateの省電カストレージ「Exos CORVAULT」と自社クラウドサービス「Lyve Cloud」を展示し、データセンターに最適なベタバイトストレージについて紹介。

また、最新のHDDテクノロジーを解りやすく解説し、いかにして電力と設置スペースの削減を可能にし、高い性能と可用性、及び耐障害性を提供し得るかをご説明致しました。

URL : <https://www.seagate.com/jp/ja/>

**日本ノーベル**

2008年から進化を続けてきたDCIMの老舗「iDCNavi」は、日本のデータセンター運用現場における課題解決を支えてきました。当ブースでは、計測・データ蓄積・見える化・分析のサイクルを活用した運用改善のノウハウをご紹介します。電流監視や電気錠システムを中心とした機能はもちろん、保守運用、設計、設備増設へのフィードバックなど、現場で求められる具体的なソリューションを提案。

TEL : 03-3927-8804

Email : [dcim@jnovel.co.jp](mailto:dcim@jnovel.co.jp)

URL : <https://www.jnovel.co.jp/service/idcnavi/>

**日本ハネウェル**

IT関連製品 / サービス

セキュリティ関連製品 / サービス

ファシリティ関連製品 / サービス

Email : [BAJapan@Honeywell.com](mailto:BAJapan@Honeywell.com)

URL : <http://buildings.honeywell.com/jp-ja>

**日本ヒューレット・パッカー**

AI時代のデータセンターは、従来の常識や部分最適な機器の組み合わせだけでは、その真価を十分に引き出すことはできません。本ブースでは、ネットワークから冷却技術までを「AIのために再定義」した、業界唯一の統合ポートフォリオ「HPE AI Factory」をご紹介します。サーバー、ストレージからネットワークまでAIに最適化された最新IT機器をワンストップ

で提案致しました。見どころはGPUサーバー、DLC(直接液冷)対応のサーバーやネットワークスイッチの実機展示です。パフォーマンスを妥協せず、持続可能な次世代デジタル基盤をいかに構築するか。AIインフラの最適解をご確認ください。

URL : <https://www.hpe.com/jp/ja/home.html>

**日本ビー・エー・シー**

世界で1000を超えるDCサイト、トータル12.5GWの冷却実績、日本においてもOne Stopで冷却課題を解決 シンプル・持続可能性・信頼性に優れた冷却システムをご紹介します。幅広い冷却方式に対応した高性能な冷却塔から液浸冷却タンクまで、ユーザーの課題解決をサポートします。蒸発冷却の専門知識とグローバル実績を活かしたトレンドを展示しました。

URL : <https://bacj.co.jp/>

**日本モレックス**

最新技術として注目の製品、「Liquid cooled busbar(液冷バスバー)」を出展します。独自の多チャンネル液冷構造により熱の均一性と電気効率向上を両立し、AI・HPCなど高密度データセンターの大電流・高熱環境に最適化されたパワーディストリビューションソリューションです。また、Open Compute Project(OCP)に基づいた革新的なコネクティビティによりデータセンターの効率化と信頼性向上に貢献するソリューションを提供します。複雑化するデータセンターの課題に対し弊社が提供する業界をリードする大電流・高速インターコネクトソリューションを紹介した。

TEL : 046-261-4500

URL : <https://www.molex.com/ja-jp/home>

**ハーティング**

産業用途で既に数多くの実績を有し、次世代AIサーバーへの電源供給にも最適な業界最小・最大電力対応の大電流用コネクタソリューションを紹介しました。データセンターでは大量の電力を消費する高性能AIサーバーの導入により大電力供給のニーズが高まっています。100kW超にもなるラックに効率的かつ確実に電源分配するため、ラック給電は配電盤接続方式やバスダクト接続方式、サーバ給電にはパワーシェルフからバスバー経由でDC電源を供給する集中電源方式などが用いられています。各電源供給方式に最適化された最大300A/1000V対応、防塵防水、省スペースおよび電源損失を抑えたコネクタおよびケーブルハーネスを展示した。

TEL : 045-476-3456

Email : [jp@HARTING.com](mailto:jp@HARTING.com)

URL : <https://www.HARTING.com>

**バーテック**

バーテック展示ブースではデータセンター向けの24時間365日連続運転が可能なポンプシステム「BPユニット」を初展示いたします。BPユニットは、データセンターの冷却システ

出展社情報 (50音順掲載)

ムを標準化・ユニット化し、サーバーの拡張に柔軟に対応できるスケーラブルなシステムです。ABCI方式や最適化されたポンプ制御、排熱の見える化、高い冷却能力、強力なポンプシステム、遠隔制御対応により、省エネで効率的な運用を実現します。これにより、データセンターでのポンプシステム構築の難易度を下げ、水冷システムの省エネに大きく貢献します。  
TEL : 06-6484-9343  
Email : dc@burrtec.co.jp  
URL : <https://burrtec.co.jp/datacenter/>

**バンドウィットコーポレーション日本支社**  
AIネットワーク&データセンター向けファイバー構造化配線ケーブル、インテリジェントPDU、アイルコンテイメント、ケーブルPathwayなどを紹介。  
TEL : 03-6863-6050  
Email : jpn-marketing@panduit.com  
URL : <https://www.panduit.co.jp/>

**日立システムズ**  
日立システムズは、IT機器の知見とサーバールームやオフィス設備の工事実績を活かし、コンテナ型データセンターの設備設計から施工はもちろん、IT機器の調達、構築までトータルでご提供いたします。サーバーもセットでご提供する短納期モデルから、ユーザーの要件に応じたフルカスタマイズモデルまで、ご要望に合わせて柔軟に対応します。また、全国約300拠点の保守網とメーカーとの長年のアライアンスにより、導入後の運用監視・保守も含めた提案も可能です。ブースでは、コンテナ型データセンター以外にもビル型データセンター向けや、日立データセンターのソリューションもご紹介。  
Email : seminar-info.do@hitachi-systems.com  
URL : <https://www.hitachi-systems.com/index.html>

**PSTジャパン**  
DwyerOmega Groupは、精密測定・制御技術のグローバルリーダーとして、データセンター向けに温度・湿度・圧力・空気質などの環境モニタリング機器や制御システムを提供します。高精度センサ、データロガー、制御機器を活用し、サーバールームの安定稼働、効率化、省エネをサポート。長年の実績と豊富な製品ラインナップで、信頼性の高いデータセンター運用を支えます。  
『Data Center Japan 2026 向けのデジタルセールスルーム』のお知らせ  
[https://www.processsensing.co.jp/2026/02/24/n244\\_dtcj2026-seismic/](https://www.processsensing.co.jp/2026/02/24/n244_dtcj2026-seismic/)  
Email : jp.info@dwyeromega.com  
URL : <https://www.processsensing.co.jp/>

**日比谷総合設備**  
日比谷総合設備(株)は(株)NTTデータ社と共同で「Data Center Trial Field」を運営し、外気冷熱や液冷の最適化、漏水リスク低減な

ど施工課題を実機で検証しています。統合監視ではDC専用BMS「DC-BAS」によりIT機器とファシリティ設備を一元管理し、省人化・運用効率化を支援します。日比谷通商(株)はDCなどでご使用の冷媒機器(空調、冷却設備など)の更新・撤去に伴うフロンガスの回収作業から再生処理、証明書発行、年間回収実績の管理まで一括でサポート致します。ニッケイ(株)は、都市型DCにおける騒音課題に対し、提案・施工・効果確認まで実施します。  
TEL : 03-3454-1264  
URL : <https://www.hibiya-eng.co.jp/ja/index.html>

**フェニックス・コンタクト**  
高い信頼性と環境への責任が両立するデータセンター向けのソリューションを提供している、ドイツに本社を置くフェニックス・コンタクト。その中から、データセンターにおける冗長化ソリューション・関連製品をご紹介。電源やUPS、オープンエコシステムであるPLCnextやエッジデバイスなどにより、ティア4までの最高レベルの冗長性と信頼性、およびセキュアな環境を提供します。  
TEL : 045-471-0093  
Email : jp-info@phoenixcontact.co.jp  
URL : <https://www.phoenixcontact.com/ja-jp/>

**フォスジャパン**  
VOSS(フォス)は、ドイツ創業の流体システムパートナーとして、継手・配管などの配管部品をモビリティ・定置型設備・鉄道などの幅広い分野に提供しています。バッテリーEVやBESS(蓄電池)などで実績を持つシステム設計スキルを活用し流量を最適化したマニホールド、継手を紹介。  
URL : <https://www.vossjapan.com/>

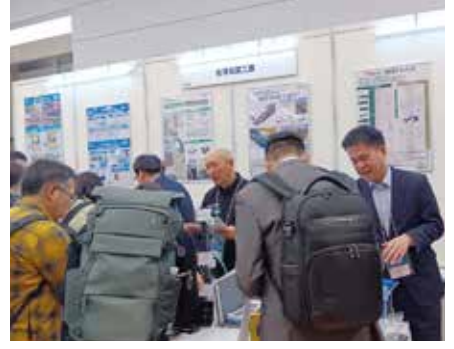
**富士アイティ**  
富士アイティのデータセンター統合監視システムは、ユーザーの課題、環境変化へ柔軟に対応します。蓄積した膨大なデータは、ユーザーが活用できるようオープンにし、他システムとの連携も実現します。また、再エネ併設型蓄電池のご相談も承れますのでお見逃しなく。  
URL : <https://www.fujielectric.co.jp/fit/>

**フジクラ**  
光配線ソリューションを実装したラック、光ファイバケーブル(SWR®/WTC®)、光コネクタ用クリーナ(One-Click® Cleaner PRO)、多心光ファイバ融着接続機など、生成AIの普及・拡大を背景としたデータセンターのネットワークオペレーションに貢献する製品群を展示。  
TEL : 080-8179-1460  
URL : <https://www.optic-product.fujikura.com/jp/>

**不二電機工業**  
『データセンターは保守でも止めない』環境

価値が求められる中、電力測定の信頼性確保のため、検定付き電力量計の必要性が高まっています。電力量計を「無停電」「短時間」で交換可能にする「無停電交換ユニット」は、保守時でも停止を許されないデータセンターにとって、新たな選択肢となります。今回の展示では、無停電交換ユニットに新たに追加したオプションカバーと新機種をご紹介します。  
TEL : 075-221-7978  
Email : prod@fujidk.co.jp  
URL : <https://www.fujidk.co.jp/>

**古河電気工業**  
当社は光ファイバケーブルや光デバイス、光パネルなど様々な製品でデータセンターの構築から運用までを幅広く支援しています。今回はこれらの製品を展示すると共に、3/24(木)のカンファレンスでは高機能樹脂製品を活用した省人化と工程効率化を図る施工の考え方と解決のヒントを紹介。  
TEL : 03-6281-8500  
URL : <https://www.furukawa.co.jp/>



**プロマット・ジャパン**  
弊社プロマット・ジャパンは、環境負荷の低減と省エネに貢献する高性能断熱材、そして安全性を高める耐火材を提供しています。今回展示する「デュラスチール」は、ケイ酸カルシウムボードを芯材に、両面に穴あき亜鉛メッキ鋼板で補強した高性能耐火・防爆ボードです。システムにより最大4時間の耐火性能と防爆性能を兼ね備え、乾式で薄型構造による簡単施工を実現します。耐火壁、防爆バリア、隔壁、データルーム保護など、過酷な環境に最適な製品であり、データセンターの信頼性を守るため、火災や爆発などのリスクに対応する革新的なソリューションです。  
TEL : 03-6240-9505  
Email : pj.c.sales@etexgroup.com  
URL : <https://www.promat.com/ja-jp/>

**ブロードバンドタワー**  
再生可能エネルギー100%運用を前提に、AI/GPU時代の高密度ラックにも対応する次世代グリーンデータセンターとして、2026年秋オープン予定の石狩新港サイトをご紹介します。6つの独立区画(全体で約1200ラック規模)×標準10kVA/ラック・最大20kVAへの拡張設計で、段階導入と将来増設を両立し、涼涼な立地特性を活かした運用

出展社情報 (50音順掲載)

と、液冷・液浸の相談余地も含め、脱炭素とAIインフラを同時に前へ進める選択肢を提示。  
TEL : 03-5202-4801  
URL : <https://www.bbtower.co.jp/>

ヘキサコア

ヘキサコア株式会社は、通信ビルやデータセンター向け設備、計測・監視システムの設計製造、販売を行っています。当展示会では、データセンターへの導入実績があるラック・分電盤の電力使用量や残電力容量をマップ表示で視覚的に確認できるマネージャーソフト「CEW-M4」および、お手軽に導入できるModbus 対応の交流電流センサー「PAL シリーズセンサー」などを展示します。ヘキサコアはユーザーに寄り添える技術力とサポート体制で、安全かつ効率的な通信設備構築のお手伝いやエネルギー効率化を実現するソリューションを提案。  
TEL : 050-3629-7435  
Email : [sp@cew.co.jp](mailto:sp@cew.co.jp)  
URL : <https://www.cew.co.jp>

北海道ニュートピアデータセンター研究会

北海道ニュートピアデータセンター研究会(HNDC)は、産学官連携のもと2020年に設立され、北海道のデジタルインフラ発展に向けた議論と提言を進めてきました。本展示会では、研究会の成り立ちや目的、これまでの主な活動を紹介。また、2025年10月に刊行した書籍『デジタルインフラと北海道～DXで耕す北の未来～』も展示いたします。再生可能エネルギーの活用や地域産業との連携など、北海道の潜在力を未来のインフラへどのように結びつけていくかを示した内容で、研究会の取り組みを深く理解いただける機会となります。  
URL : <https://nutopia-hokkaido.org/>

ボーセイキャプティブ

データセンターの効率化に革新を。～多機能ファスナーがあれば、サーバー×UPSの運用がスマートに～ ①省スペース設計…コンパクトかつ高強度。狭小スペースでもしっかりと機能し、設計の自由度を大きく広げます。②工具不要のワンタッチ締結…工具レスで、誰でも簡単・確実に固定可能。作業ミスを軽減し、作業者の負担も最小限に抑えます。③工数・時間の大幅削減…取付・取外しが迅速に行えるため、施工時間を大幅に短縮し、トラブル時の対応をスピーディーにします。  
TEL : 03-5489-3831  
URL : <https://www.bohsei-cf.co.jp/>

マイタックジャパン

MITAC Computing Technology は、次世代データセンターの高性能化・高効率化に対応する AI サーバー、GPU サーバー、マルチノードサーバー を中心に展示します。OCP コンセプトや液冷技術を含む最新プラットフォームを通じて、電力効率向上、冷却課題への対応、将来の拡張性を考慮したインフラ設計を提案します。AI・HPC 用途からエンタープライズ

まで、柔軟な構成と実運用を見据えたデータセンターソリューションを紹介。  
TEL : 03-3769-8311  
Email : [MJC-SALES@mitacomputing.com](mailto:MJC-SALES@mitacomputing.com)  
URL : <https://www.mitacomputing.com/>

マサル工業

データセンターの重要度は日々高まり、社会インフラとしての役割はさらに重要です。その中で、配線インフラの整備は、安定稼働と信頼性確保に不可欠な要素です。今回の展示では、トレー型合成樹脂製ダクト「オーブダクト」を展示。信頼性の高い高速通信を実現する配線インフラをサポート・国内生産による短納期対応で、迅速な導入を可能に・多数のデータセンターで採用されてきた実績と信頼性 データセンターの運用において、配線インフラの重要性は広く認識され、効率的なケーブルマネジメントと冷却性能の最適化が求められています。製品や導入事例などを紹介した。  
TEL : 0120-340-350  
Email : [info@masarukk.co.jp](mailto:info@masarukk.co.jp)  
URL : <https://masarukk.co.jp/>



丸の内ダイレクトアクセス

丸の内ダイレクトアクセスは、大手町・丸の内・有楽町エリアに多数のビルを保有する三菱地所株式会社と国際的通信インフラ事業のノウハウを持つ丸紅株式会社により設立されました。三菱地所が保有するビルの他、大手町・丸の内・有楽町エリアの約7割のオフィスビルをカバーする光ファイバー網を構築し、その光ファイバー網と繋がる高い信頼性を備えたデータセンターを運営しています。丸の内ダイレクトアクセスは大手町・丸の内・有楽町エリアのまちのITインフラとして、オフィス直結型のデータセンター及び光ファイバーの提供を通じて、このエリアの「安全・安心・快適なまちづくり」の一翼を担っています。  
TEL : 03-3214-4881  
Email : [sales-dpt@directaccess.co.jp](mailto:sales-dpt@directaccess.co.jp)  
URL : <https://www.directaccess.co.jp/>

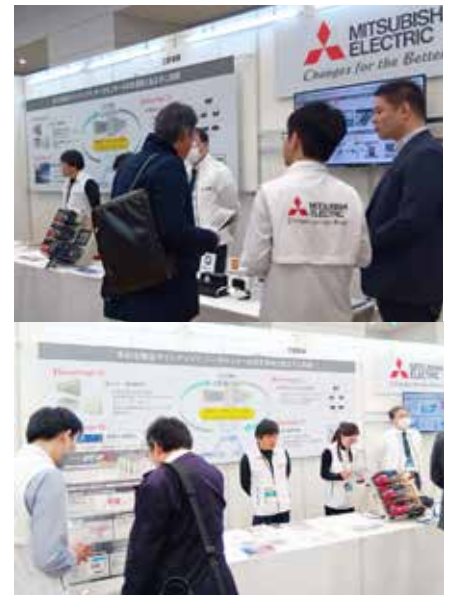
マルヤス工業

マルヤス工業は、自動車分野で70年以上培ってきた配管、熱交換器設計の知識を活かし、データセンター向け In Rack タイプCDU (Coolant Distribution Unit) の試作機を出

展します。まだ試作段階ではありますが、熱交換機の小型化や配管の流れをできるだけ滑らかにして圧力損失を最大限に減らす工夫などにこだわって設計しています。これから改良していくためにも、皆さまのお声を伺える貴重な機会になればと思っています。  
TEL : 0564-34-1528  
URL : <https://www.maruyasu.co.jp>

三菱電機

三菱電機は、データセンターの運用・管理を支える総合ソリューションを提供します。監視システム、空調、UPS、受配電などのインフラから、省エネ・高効率な設備設計、セキュリティ・可用性向上まで一貫してサポート。最新の技術と豊富な実績を活かし、信頼性とコスト効率を両立した最適なデータセンター構築を実現します。  
URL : <https://www.mitsubishielectric.co.jp/ja/>



ミライコミュニケーションネットワーク

地方データセンター事業者としての「小回りの利く柔軟なサービス」と、ITインフラ基盤に採用しているNutanix (ニュータニックス) による「大手企業が採用する高い安定性・効率性」を両立させた点が最大の魅力です。先進的なハイパーコンバージドインフラ (HCI) であるNutanixを基盤とすることで、故障に強く、迅速な拡張性、運用効率を実現しています。これにより、ユーザーの多様かつ細かなご要望に対し、大手に負けない堅牢なインフラと地方ならではの機動力あるサポートを組み合わせ、最適なソリューションをご提供。  
TEL : 0584-78-7810  
Email : [sales@mirai.ad.jp](mailto:sales@mirai.ad.jp)  
URL : <https://www.mirai.ad.jp/>

明京電機

DC業界でグローバルに大きなシェアを誇るVertiv社の一次代理店である明京電機の出展

出展社情報 (50音順掲載)

ブースです。メイン商材のインテリジェント rPDU、単相UPS、効率的なIT 機器管理を実現するDSView™ Solutionに加え、三相UPS、冷却装置、CDUなどのファシリティ関連製品もご紹介。

TEL : 03-3810-5580  
 Email : datacenter\_sales@meikyo.co.jp  
 URL : https://datacenter.meikyo.co.jp/

**矢崎エナジーシステム**

世界的に気候変動対策が加速する中、企業にはCO<sub>2</sub>排出量の削減が求められています。特に、生成AIの拡大で電力使用が増えるデータセンターや、冷凍倉庫・化学工場など高負荷で稼働する施設では、脱炭素化が一層重要となっております。こうした課題を解決するために、電線メーカーである弊社は「サステナ CVT ケーブル」を開発しました。本製品は一般的な600V CVT に比べ、通電時のムダな電力消費を抑え、使用するだけでCO<sub>2</sub>排出量と電気代の削減を実現します。今後もモノづくりを通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

URL : https://www.yazaki-group.com/densen/index.html

**大和電器**

弊社ブースでは、「三相PDU」を展示いたします。従来の単相PDUと比較して、より効率的な電力供給を実現します。日本メーカー初となる本製品は、サイズと構造にこだわり、大和電器ならではの技術を詰めこみました。展示会場で実機をご覧いただき、直接体感してみてください。その他にも、ご好評を頂いております100V・200V コンセントバー (PDU) シリーズも多数展示した。

URL : https://www.yamatodenki.com/

**ヤンマーエネルギーシステム**

本展示では、拡大を続けるデータセンターの電力需要に対応する、ヤンマーの最新エネルギーソリューションをご紹介。高出力とコンパクト設計を両立した発電システムにより、設置条件の制約にも柔軟に対応でき、高い信頼性を実現。非常時に求められる確実な始動性能や安定した電力供給に加え、運用効率の向上や将来の環境対応を見据えた技術開発の方向性も分かりやすく解説します。データセンターの安定運用とレジリエンス強化に貢献する次世代電源の可能性をご体感ください。計画段階から更新案件まで幅広いニーズに対応し、設計・導入・運用を見据えた具体的な活用イメージをご提示。

Email : yes-GSS@yanmar.com  
 URL : https://www.yanmar.com/jp/energy/

**郵船ロジスティクス**

データセンターのライフサイクル全体を支える物流ソリューションを提供します。建設フェーズの大型機器輸送から、24時間対応のサービスパーツ配送、国内デポ運用、リバース

ロジスティクスまでを一括管理。高品質・高セキュリティ輸送を提供します。IT インフラを支える当社の強みをぜひご覧ください。

TEL : 03-3669-6991  
 URL : https://www.yusen-logistics.com/jp\_ja/

**ugo**

本展示会では全国のデータセンターで社会実装が進められている「ugo mini」をご紹介させていただきます。ugo mini は機械室やサーバーラームといった付帯設備の巡回点検を自動化するロボットソリューションです。

TEL : 03-5846-9967  
 URL : https://ugo.plus/

**ラネクシー**

仮想基盤の更改や移行を取り巻く環境を踏まえ、データセンター事業者の視点から、利用者向けに提案しやすいバックアップの運用シナリオをご紹介。オンプレミス仮想環境を対象に、移行前のデータ保護から移行後のバックアップまで継続して利用できる構成を想定し、利用者の環境に合わせて仮想環境のバックアップ方式 (エージェントレス・エージェントインストール) を選べ、エージェントレス・インストールを混在することも可能です。さらに仮想基盤の変更や移行途中の混在環境にも対応可能な、柔軟なバックアップと迅速な復旧の考え方を提示。

TEL : 03-6261-4711  
 Email : sp@runexy.co.jp  
 URL : https://www.activeimage-re.com/

**ラリタン・ジャパン**

Starline Holdings Technology グローバルデータセンター市場で確固たる地位を築いているLegrand グループの一員であるRaritan とStarline が共同出展し、最新のLegrand データセンターソリューションをご紹介。ハイバースケーラーからコロケーション、コンテナDC と幅広い分野に対応しています。ハイバースケーラーでの導入実績豊富なStarline バスバー・AI インフラ対応のRaritan iPDU および環境監視センサー・ラック内機器へのリモートアクセス・OCP に準拠したORV3 対応バスバー・データセンターや工場によく使われる防水・耐衝撃仕様 Legrand ソケット などを紹介。

TEL : 03-6687-6830  
 Email : sales.japan@raritan.com  
 URL : https://www.raritan.com/jp/

**リタール**

OCP (Open Compute Project) に準拠した OCP ORV3 ラックを展示いたします。また、モジュール式のクーラント分配ユニット CDU In-Rack ((Coolant Distribution Unit In-Rack)) と マニフォールドを OCP ORV3 ラックに搭載した DLC "Ready" -Rack も併せて展示いたします。データセンターにおける冷却課題に対応する最新ソ

リューションを、実機にて紹介を行なった。

TEL : 0120-998-638  
 Email : contact@rittal.co.jp  
 URL : https://www.rittal.com/jp-ja/

**両備システムズ**

岡山に位置するデータセンターを中心に、インフラソリューションをトータルサポートしています。GPU 対応の高負荷電力を提供できる「コロケーションサービス」や、ユーザーの運用に寄り添った「個別カスタム運用サービス」を提供しています。岡山は災害リスクが低く、西日本有数の立地条件の良い場所です。再エネ活動にも取り組んでおり、持続可能な社会の実現に貢献しています。私たちは、民間企業、自治体、教育機関、医療機関など、様々な用途やご要望にフレキシブルに対応いたします。ユーザーのビジネスの成功をサポートするために、最適なインフラソリューションを提供いたします。

TEL : 086-264-1055  
 Email : idcinfo@ryobi.co.jp  
 URL : https://ryobi.co.jp/idc/

**ロクステック・ジャパン**

Roxtec(ロクステック)は、ケーブルやパイプ貫通部を密閉処理するシーリング製品のリーディングカンパニーです。複合的な保護性能を持つ製品により浸水、空気漏れ、粉塵、火災、電磁干渉、温度変化、有害生物侵入などのリスクから人命や資産を守り、効率的な設計・施工、施設の長寿命化を通じて持続可能なインフラの構築に貢献します。Roxtec のシール製品は、「耐水化」「気密性維持による電力消費の効率化」「スケラビリティの向上」を目的として、世界中にある最先端のデータセンターで選ばれ続けています。新規プロジェクトだけでなく、既設のデータセンターにも最適な製品など多数展示した。

TEL : 03-4550-0730  
 Email : jp-market@roxtec.com  
 URL : https://www.roxtec.com/jp/

**ONESTRUNCTION**

データセンターの新設・増設において、設備情報の管理は複雑化しやすく、設備情報や図面、過去の工事履歴が複数拠点や担当者に分散し、更新やトラブル対応のたびに情報収集に時間を要してしまいます。弊社のソリューションは、これらの情報を横断的に紐付けて検索できる環境を提供し、担当者変更時の引き継ぎ負荷や抜け漏れによるリスクを低減することができます。また、それだけでなく、コンテキストを活かしたデータセンターの自動設計、モデルを用いた干渉検出、設備やラックの増設計画から運用フェーズでの情報活用まで、設計・施工・運用の各段階を一貫して支援します。

TEL : 050-1809-1266  
 Email : info@onestruction.com  
 URL : https://onestruction.com/

## 特別寄稿

# 飛行機が好きだ！ 海外出張の思い出

金丸 幹夫

1931年生の私は幼少の頃から飛行機がダントツの好みで、『月刊飛行少年』と『航空少年』の2冊に毒されて空を目指した。

戦時14歳の少年が日本航空学校の二年生の末期のことである。練習用の複葉機（通称赤トンボ）の発動機の発進時に音の異常を発見し、教官に「気筒の点火線のズレか？」と指摘したところ、それが的中した。以来、「主席君」と呼ばれ嬉しさ万感の思いが語り草で続いたが、これも夢か、間もなく“日本チンボツ！”，敗戦となって消えた。しかし、飛行機が好きで空を駆け海外を飛び回りたいという想いは消えることはなかった。

人生激変での再出発は2年遅れで5年生の甲府中学に入学、更に学校改革で甲府一高になり、6年間も居座ることになった。6年間の同校時代の前半は時世敗者の展開では英語必須かと「語学部」に入会、ヒヤリング高揚のため米国映画の数多くを視聴する。しかし語学向上という早期の目的は順次疲れ、映画に魅惑され「映画部」に転会し

た。後期は映画製作を夢見て、なりてのない部長までのめりこむ一方通行を走った。

当時のアカデミー賞受賞作は「我等の生涯最良の年」。この作品は第二次世界大戦が終わり、アメリカ中部の町に復員兵が帰ってきた人間社会の復帰を描くアカデミー8部門受賞大作である。この映画が描く人間像に感激したことで数回も鑑賞するなど、当時の小生は必須の大学進学に用意すべき進学適正検査などを全く忘れていた。

大学（日芸映画学科）を卒業したころの映画産業は斜陽期でビデオ先行となり、テレビドラマのロケ用インサートフィルムもVTRに変遷の指向であった。大学卒業後、TBS演出部でフィルムとビデオの両刀使いで多年にわたり関わる私は、間もなく訪れるビデオデジタル化の到来で、“VTRCM”の制作が一挙に多忙化した。

現役時代の私の仕事はTVCM制作が多く、特にVTRベース映像関連で海外CG映像の“SIGGRAPH”や映像機器展示の

“NAB SHOW”等の関連企業を訪問することが多かった。その海外渡航には、当時出回ったばかりの“JALカード”が大きく貢献したといってもいいだろう。私はマイルの累計多大として1986年にグローバルカードを取得、その恩恵で年一回アメリカの各都市で開催される映像制作関連等のイベントツアーに積極的に参加することができた。

このグローバルカードのおかげでうれしかったことがある。生まれて初めてファーストクラスを体験することができた。羽田からシカゴまでの11時間55分のフライトで、乗客が少ないこともあって（ファーストクラスは老夫婦だけだった）、アップグレードという幸運に恵まれたのである。うれしいやら戸惑うやら…。ゆうたりとした座席で、パーサーやCA嬢に囲まれて飲んだ“シャブリ”の美味は今でも忘れない。

その後、シカゴで乗り継ぎ、ケベックに向う。グローバルカード片手に何度か飛行機で渡航したが、その中でもカナダのケベックを訪れた時のことは記憶に残っている。

ケベックは古い歴史を背景に90%がフランス語のエリアである。宿泊ホテルは“モンテカルロ”、当地滞在の日本人コーディネーション観光サービスをセットにした有意義な旅となった。特にプリンスエドワード島をはじめとした自然は素晴らしく、CM撮影の企画素材にと数多くのシャッターを切った。

しかし、旅は愉快なことばかりではない。アメリカのボストンで開かれた





グラフィックデザインのイベント“SIGGRAPH”に向かう途中で起きたカナダ・トロント空港でのトラブルである。それはトランジット事務官の不親切で高圧的なパスポートチェックから始まった。日本人の私を後回しにして早口での詳細な質疑に、ブロークンな英語では通用せず、理解もされず、戸惑うばかりでマイッタ！申請書には旅のプロセスから持参金まで記載されているのに、係官は一見のみで、威圧的に「ダーマキ！ダーマキ!!」と繰り返す。まるで犯人扱いの私は「ダーマキ」の意味がやっと解りかけた。キーワードは“ドーマキ”つまり“ハラマキ(腹巻き)”で、胴巻きにお金を隠し持っていないかという疑いである。頭にきた私は下半身を脱ぎかけ、大声で {ナッシング!} と叫んだ。20分の押し問答の末、やっとOKとなり、ラストの乗客として15分も遅れて機内に乗り込んだ。他の乗客からは、当時多かった農協のツアーメンバーと間違えられ、満席の中を冷やかな視線を受け、しょぼくして席に着いたのであった。

この時のグラフィックイベントはCG映像のTVCM入賞日本作品の発表会への参

加であり2日間で終了、残りの日々はCG連携のマサチューセッツ大学と名門ハーバード大学との交流会に参加した。夜はロブスターロールとクラムチャウダーで超有名なクインシーマーケット内の“ポストンチャウダー”を白ワイン片手に10数名で盛り上がったものである。

また、ニューヨークを訪れた時、TBSとNY支局と連携しているCBSをはじめとする世界の第一線ネットワーク放送局の見学は気分が高揚し、実に楽しかった。さらに3大ポストプロダクションであるテレトロニクス、リーブステレテープ、600人スタッフのスクリーンジェムズでの社内アプローチは感激の対応を受け、流石の声が出たものである。

続いて訪れたCMプロダクションPD社(ベストピープルインク)は、10名のクリエイターが各自10社を担当、それを会社が包括するというユニークな広告代理店であった。この方式は日本のCM制作会社にとって大いに参考となり、独りの企画ディレクターを中心とした“マンションプロダクション”の多発かと声も上がった。

ニューヨークでの夜も盛り上がった。42丁目ニューヨーク中央駅(グランドセントラル)地下にあるシーフードレストラン・オイスターバーでは世界中のオイスターとポンド扱いのエビ等の海鮮料理に舌鼓を打ちながら、取材した話題が交錯、そのパワーがマンハッタンの夜を更に印象深く飾り上げた。このニューヨーク訪問では予定より一日延泊、夜のダウントウン

にスキンシップ、プレッカーストリートのブルーノートに近い“ピターエンド”でJAZZとワインでひとり旅の疲れを癒した。

ニューヨークから日本で戻る14時間のフライトはエコノミー席もビジネス後ろ寄りではあり、グローバルカード片手に、大好きなボーイング747の機内でサービスのワインを5本も開け、夢見心地の快適なひと時であった。

私の旅の思い出は、いつも大好きな飛行機と共にある。



### 著者 金丸幹夫 略歴

- 1956年3月 日本大学 芸術学部 映画学科 卒業
- 1959年4月 (株)東京放送 演出部 契約
- 1965年4月 (株)TBS映画社 入社 コマーシャル部長
- 1970年4月 宣伝会議 コピーライター 講師
- 1981年8月 ビデオコミュニケーション協会設立
- 1984年6月 (株)TBS映画社=(株)TBSビジョンに社名変更。クリエイティブ局長
- 1986年4月 尚美学園 映像企画制作・講師
- 1986年7月 (株)プラスアルファ(株)TBS関連) 設立 代表取締役
- 2004年8月 NPO日本ビデオコミュニケーション協会(JAVCOM)設立 理事長
- 2022年7月 同協会名誉会長/現在に至る

## ラジオドラマ制作「創意工夫」のエピソード編

### ☆ はじめに

新年度令和 8 年を迎えました。筆者はこの年号とか新年度とかがよく理解できていません。全て西暦の 1 月 1 日でスタートできないものでしょうか？不思議です。勿論こうした慣習は海外にもあって、アメリカやイギリス、フランスなどは 9 月スタート、英語で新年度を「academic year」といいます。また夏休み明けで学校に戻ることを意味して「Back to School」＝新学期とも表現します。いずれにしても役所など様々なところでの書類記入の時いつも今年は何年と面倒くさいのです。すべて西暦で何か不都合があるのでしょうか？

桜もほぼ全国で開花済、ピカピカの一年生や新調のスーツに身をかためたフレッシュな会社員などが街で目を引きまします。読者皆様も新年度を迎え、益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

さて今回のスタジオ夜話、ラジオドラマ制作「創意工夫」のエピソード編です。今まで制作技術や演出のお話を特集してきましたがこのエピソードシリーズでは音声関連のコンテンツ制作にまつわる様々なエピソードを時々お話しする機会としたいと思えます。スタジオ夜話、連載当初の感じです。お付き合いのほどよろしく願いいたします。

### ☆エピソード 1

「朗読」について S＝スタジオ夜話的にそもそも朗読っていったい何？。ある辞書によると「ろうどく【朗読】《名・ス他》

声をあげて（朗々と）詩歌や文章をよむこと。」Google AI によると「朗読（ろうどく）とは、物語や詩などの文章を、内容や感情を理解・解釈し、強弱や間（ま）を工夫して声に出し、聞き手に情景や心情を伝える表現方法だそうです。単なる「音読（正しく読むこと）」とは異なり、演劇的要素を含んだ「表現読み」とも呼ばれます。」声をあげて（朗々と）とか演劇的要素を含んだ「表現読み」とあり「音読（正しく読むこと）」とは異なるのだそうです。しかしながらアナウンサーの養成にあたっては正しい発音で書かれている文章をきちんと読むことが推奨され、内容や感情を理解・解釈し、強弱や間（ま）を工夫して声に出し、聞き手に情景や心情を伝える表現は推奨されません。そうした表現はどちらかというと「一人語り」の演劇的なものとして区別されています。その理由はわかりやすいものです。元々アナウンサーはニュースなどでその内容を音声で伝える（announce 英アナウンスする）ことが主たる仕事でした。したがって原稿内容を音声化するとき表現力よりも伝達力が重視された結果なのです。アナウンサー採用試験でニュース原稿に感情など込めて読むと、まず間違いなく「アナウンサーよりも役者さん志望に切り替えたほうが才能を生かれますよ」と寸評されます。試験官に余裕？があれば標準読みも聴いてもらえるかもしれません。しかしここで考えてみましょう。もし朗読の内容（原稿）が京都弁で書かれていたら。もし英語で書かれている部分のある原稿だったら。標準

語の「いらっしゃいませは」京都弁で「おいでやす。」「おこしやす。」です。正確には前者は通常の「いらっしゃいませ」後者は丁寧さが少し上がります。また読みかたのイントネーションはアナウンス辞典をみて「なんていったって私は江戸弁（なまりが

ハイビジョン伝送・災害・報道・海外派遣

### SATCUBE

「驚愕の超小型平面アンテナ！」

スタンダードなSCPCでのSNGモデルに加え2020年7月に新しくスタートしたスカパーJSAT社の新サービス「Sat-Q」モデルもラインナップ。お客様の運用にマッチした利用が簡単にできます。放送などのHD映像伝送・災害通信・海外通信・企業のBCP向けなど幅広く利用可能です。

<SATCUBEアンテナの特長>

- 47cm x 30cm x 5.5cmビジネスバッグに入ります！
- SCPCモデル、Sat-Qモデル、各種あり
- 災害/報道/海外派遣映像音声伝送インターネット接続/ハイビジョン伝送可能
- わずか1分で通信可能組立不要・工具不要
- 衛星捕捉は内蔵ディスプレイのアシスト機能で素早く簡単
- 航空機持込可能バッテリーで運用可（約3時間運用可能）
- 運用中のバッテリー交換可（ホットスワップ対応）
- モバイル中継装置（TVU・Live U・スマテレ等）と連携可

Communications k.k. エーティコミュニケーションズ株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14  
TEL: 03-5722-9125 http://www.bizsat.jp



また、別の朗読会の稽古に伺いました。ウッドベースの即興伴奏が加わる、時代小説の朗読会です。即興演奏であるため、内容は毎回異なります。間とり方、弓で弾くか、弾くか、朗読者と演奏者の阿吽の呼吸が求められるそうです。「も」

新国劇の俳優が、88歳という高齢にもかかわらず、2か月に一度、神楽坂のレトロな喫茶店において、時代劇に関する逸話や朗読会を開催しております。前半は、俳優が幼少期に耳にした話（戦後直後から昭和30年代にかけては明治生まれの方々が存在しました）、時代劇テレビ番組の裏話などを披露されます。後半は、作家による書き下ろしの「神楽坂奇談」の朗読会が催されます。

あるので昨日NHKの読みで何度NGで訂正をいただいたから・(中略)・ほんとうに朗読なんて苦手で私でよろしいのですか……」でした。担当プロデューサーの白柳氏(学研音楽出版)は「もちろんOKです。そこが魅力なんですよ」と笑っていました。実際の収録では読み間違いの部分訂正はあったもののTEST1回本番1回2時間足らずで録り終えました。芥川龍之介「蜘蛛の糸」。ご本人も納得の朗読でした。今聞いても標準語とはちがった素晴らしい味わいのある朗読CDです。筆者は「朗読」には過剰な演技や表現はいらないが標準語標準イントネーションはNoGoodでやはり「味」のある表現のものが好いと思っています。「朗読」とは物語や詩などの文章を、内容や感情を理解・解釈し、読み手が「味」を持って表現するものである。と考えています。

## ☆エピソード2

「アニメの声」について S = スタジオ夜話的に最近の声優さんといえば概ねアニメの声優さんを思い浮かべます。とても人気があります。昔はアメリカ映画の吹替の声優さんが人気でしたがコンテンツの制作数や様々な要素がその背景にはあるかと思えます。今や日本のアニメは世界市場を席捲しています。諸外国の中には声も吹替無しで字幕での放送もあります。TV番組「Youは何しに日本へ」ではアニメ目的で日本を訪れる人が多いことが実感させられます。その多くのYouは日本語が少しは話せます。中にはとても上手な日本語を話す人もいてそのアニメ効果に驚かされています。がスタジオ夜話にここではそうした文化のお話では無くそのアニメの「台詞と演技、声」のお話をします。さて声の演技のお話ですが、ラジオドラマもアニメも洋画の吹替もよく聞けばそこには独特の表現(演技)が存在していることに気づきます。一言で

いうと「リアル」では無いのです。アニメはわかるけどと思う読者の方がいらっしゃると思います。よく聞けばすぐにわかります。例えば英語の吹替は若干の早口になります。言語の違いが影響するのです。比較してラジオドラマは若干遅めです。声だけで表現する世界なので聞き取りが重要な要素となるからです。アニメはご存じのとおりキャラ優先の声創りと演技です。最近の映画はアフレコが多く、そこで表現が「リアル」で無い方が良いこともあり「ノンリアル」な表現をすることもありますが突き詰めればコンテンツによって声の演技が違ふということです。アニメの声優さんが吹替が上手か? またその逆は? 今日の声優さんに求められるもの、それは専門性です。残念ながら声質が俗にいう「キャラ声」の声優さんはそのキャラで仕事のオファーを期待するしか無いのです。しかしいずれの場合もその専門性での演技力は必要です。コンテンツの特質を理解してその演技力を高める努力をしてください。アニメや吹替などでレギュラーと言われる声優さんは声質もいくつか使い分け、演技も様々な対応ができる素晴らしい才能ある役者さんです。筆者も制作時に毎回どんな役者さんがいらっしゃるのか楽しみしていました。

先日ご逝去された『銀河鉄道999』のメーテル役、声優・池田昌子さんが市川千恵子さんとご一緒に出演していただいた時のこと、確かにメーテルの声ではあるのですが

(年配の方はメーテルよりもオードリー・ヘップバーンの声)ラジオドラマ作品ではその演技力でメーテルを感じさせない巧みさが光っていました。ご冥福をお祈り申し上げます。コンテンツによって声の演技が違うというお話でした。

## ☆ 次回は

ラジオドラマ(サウンドドラマ)の台本と演出、技術のお話をします。お話は決して音だけにこだわらず、映像を伴うコンテンツでも同様のことが言える内容です。3者の関係性や制作上のポイントなど押さえるべきところを解りやすくスタジオ夜話的にお話します。多くの制作者が昔から気づかずにいたこと(本当は気づいている)を深掘してみます。良い季節になりました。

桜もまだ咲いています。今回のお話に出てきたかつての学研音楽出版社はさくらの名所目黒のかむろ坂(禿坂・かむろざか)にありました。まだ桜が咲いているようならお出かけしてみるのも良いかもしれません。かつてこの時期に筆者も学研の仕事に行くときにはこの坂で桜を見て和んだものです。それではまた。

— 森田 雅行 —

**SMART SNG**  
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>

ニッサン新エルグランド4WD 5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載  
車高2.2m 以下(地下駐車場可)

3.6 KVA 1MG アイドリング運用  
水圧エコ・ポール4m 搭載  
強化サスペンション

国内(100V)海外(240V)対応  
IPコントロール  
ハイビジョン映像伝送  
運転席からワンマンオペレーション

設計・製造・衛星通信のことなら  
エーティコミュニケーションズ株式会社  
TEL: 03-5772-9125



あの日、未来は明るかった。

慌ただしくもほっこりと、

現代人の郷愁を誘う

“昭和30年代のマスカルチャー”

### 可愛いフジペットカメラ

Fuji-Pet Camera

昭和の終わりに発売されたレンズ付きフィルム（使い捨てカメラ、カメラ付きフィルムとも呼ばれるが、いろいろと支障があるためこの名称に落ち着いたようだ）、富士フィルム社の『写ルンです』は、画期的な商品だった。このころでもカメラはまだ高級品で、出先では破損や紛失、盗難にも気を使わねばならなかった。だが、安価な『写ルンです』ならこうした心配が要らず、フィルムを出し入れする手間も無い。カメラメーカーが懸念した通り、大ヒット商品となって他社も追随し、進化を遂げながらカメラのシェアを侵食していった。

富士フィルムは、こうした商品の開発に長けている。昭和30年代初めには『フジペット』という手軽なカメラをいち早く世に送り出し、僕も持っていた。生まれて初めて持った自分のカメラだった。祖父も父親もカメラが好きで、外出時には持参し、僕もよく被写体になった。「お前も写真くらい撮れ」と父の飽きたらしいカメラを押し付けられ、教えられるままに数枚撮ってそのままにしていたら、「使わないんだったら返せ」と持っていかれたこともあった。カメラは子どもには重くかさばって、持って歩くには大層邪魔だった。

そんな僕がカメラも悪くないなと思ったのは、『カメラマン・コバック』というドラマを観てからだ。カメラマンを主人公にしたドラマは珍しく、カメラの宣伝にも使われていた。主演はアラン・ドロンの『さらば友よ』（1968）でブレイクする前のチャールズ・ブロンソン。トレードマークの口ひげはまだ無い。ブロンソン扮するコバックが、事件や事故の写真を撮るため捜査にも協力し、得意の腕っ節も披露した。いつもカメラを首から提げているコバックは実にカッコ良かった。

僕のフジペットは、祖父か父親が買ってきた物だ。ねだったかどうか覚えていない。

当時のカメラは、扱いが簡単と謳（うた）ってはいても、僕などの手には余った。だが、オモチャみたいなこれなら何とかなりそうだった。

捕虫網のような円錐（えんすい）形のファインダーが愛らしく、デザインも子ども好きがした。やっかいな露出も“お天気マーク”で表示され、レンズの左右にある三角のボタンを1、2の順に押していけばよい。軽くて、眺めているだけでも楽しかった。やはり、自分のカメラを持つのはいいものだ。

さっそく、上野動物園やハイキング、海水浴にも持って行き、何枚か撮った。同じカメラを持っている同年代の子どももよく見掛け、売れ筋になっているらしかった。僕と同じあすき色以外は見たことがなかったが、ボディカラーは数種類あって、時期によって使用フィルムの異なるバージョンもあったらしい。それだけ、売れていたのだろう。

ところが、意外と寿命は短かった。首から提げたままどこかにぶつけたのか、落としたかしたらしい。しばらく使ったところでシャッターが落ちなくなって修理不能と言われ、買い替えようとした時にはもう無くなっていて。巷ちまたでもあまり見なくなり、持っていた友人の何人かも「壊れた」と口をそろえた。もともと壊れやすかったとも考えられるが、あまりに愛敬のある外観があだとなって、手軽に扱い過ぎた子どもが多かったのだろう。そのためか、使用に耐える現存品は至って少ないという。

僕もあのデザインが好きで、使えなくなった後もずっと持っていたが、いつの間にか無くなってしまった。この手の「ガラクタ」がたまる一方だったので、多分誰かに捨てられたのだろう。それからは、大人になるまで自分のカメラを持ったことはなく、必要に応じて祖父か父親から借りた。そんな時、フジペットがあったらなあ、といつも思った。複製版を望む声は絶えず、あの温かみのあるデザインは今でも、いや、むしろ今だからこそ歓迎されると思うのだが……。



### 8ミリフィルム

8-millimeter fil

運動会などで、我が子の活躍を映像に収めんとする親たちが、場所取りに狂騒するようになったのは昭和の終わりと一緒だろうか。家庭用ビデオカメラ、特に8ミリビデオが普及し始めてからだが、かつての主役は同じ8ミリでもフィルムの方だった。僕もカメラ好きの父親に随分被写体にされたおかげで、幼児期からの映像がかなりある。亡くなった家族や友人の動く姿、失われてしまった風景はもうここにしかない。

通称8ミリはテレビドラマやニュース映像用と同じ16ミリ幅の専用フィルム（映画はスチールと同じ35ミリ）を縦に2分割したもので、既に戦前からあった。当初は16ミリフィルムのまま撮影し、現像時にカットしていた。すなわち、オープンリールフィルムの片側を撮り終えたらセットし直して反転させ、もう片方を撮る方式だった。

屋外では暗がりを見つけてうまく操作しないと、感光してせっかく撮ったフィルムがパーになることがあり、専用のボックスや袋も市販されていた。撮影可能時間も短く（1分から1分半ぐらい）、映画やテレビと同じ1秒間に24コマだとさらに短くなるので、多少動きがぎこちなく見える16コマに固定されたカメラが多かった。カメラも手巻きのぜんまい式で、肝心な場面フィルムが無くなったり、カメラが止まってしまうハプニングもざらにあった。



何とも原始的ながら、動画を撮れるだけでも大変なことだった。現像に何日もかかり割高（カラーはさらに高かった）だったが、世の中が落ち着いた昭和 30 年代になると、一般家庭にも徐々に普及していった。

欧米では普及も早く、かのアンネ・フランクのほんの一瞬の姿を収めた映像や、ケネディ元大統領の少年時代や家族の生き生きとした様子が残されている。ケネディの映像の多くは今も鮮やかなカラーで、さすがに大富豪は違う。皮肉にも、ケネディが暗殺された時、致命傷となった頭部への被弾の瞬間を記録した唯一の映像は、8ミリで撮られたものだった。このフィルムが無かったら、事件を巡る謎はさらに混迷していたろう。

8ミリの進歩は早く、電池で動くモーター式のカメラが発売されて、18ないし24コマに切り替えできる物も商品化された。不便極まりなかったフィルムも、アメリカのコダック社でリセット不要の「スーパー8」と呼ばれるカートリッジ式の商品が開発され、エルモ、マイネッティなどの関連メーカーの商品類も豊富になっていった。従来の8ミリフィルムは、16ミリフィルムの両側に開けられた映写機に引っ掛ける四角い穴（パーフォレーター）をそのまま利用したもので、画面が狭いという欠点があった。スーパー8のフィルムはこの穴を小さくして画面を大きくし、撮影可能時間も長くなった。

そして昭和 40 年代に入ると、いよいよ画期的な商品が日本で開発される。富士フィルムのフジカシングル 8 である。より取り扱いの簡単なカメラも売り出され、「マガジン、ポンッ、私にも写せます」というCM（やっていたのは、女優時代の元参議

院議長の扇千景氏）で大ヒットした。スーパー8では1つだった回転軸が2つあるため、オーバーラップ撮影なども可能となり、室内用のタングステン、屋外用のデイトタイプのも度も上がり、後には劇場映画のようにフィルムの縁に磁気を塗って音声を入れられるようになった。そこから自主制作映画などにもすそ野が広がり、後の日本映画を背負う監督の何人かも巣立って、1970年代にはピークを迎えた。その間にモノクロフィルムが生産中止になったりもしたが、生産時から磁器を塗布したフィルムと適合する機材も売り出され、同時録音も可能となった。

しかし、家庭用ビデオの急速な普及に伴って需要が減り始め、衰退の道をたどることとなった。その場ですぐに再生ができ、何度でも上書き可能なビデオには抗すべくもなかった。テレビでも次第にフィルム撮影は減って、近年は映画でもデジタル撮影、デジタル上映で、フィルムは過去の物になりつつある。しかし、フィルムならではの質感を愛してやまない人も多い。今でも8ミリフィルムの製造、現像を続けている個人に近い業者も存在し、ピーク時よりかなり費用がかさむのにもかかわらず、若い世代にも愛好者が増えているという。ただし、映写機やカメラは既に生産を中止しているため、修理しながら使っているのが現状だ。掛け替えの無い映像をお持ちの方は、できるだけ早くDVDなどに転写することをお勧めしたい。

### モナカカレーと『少年ジェット』 Curry & Little Jet

50代以上には懐かしい、昭和34年（1959）放送開始の『少年ジェット』。スポンサーのエスビー食品がこの番組で打ったのが、テレビにおけるカレーのCM第1号といわれる。「カット！」の音が掛かると、出演者たちが扮装のままカレーを食べるだけのもので、悪漢のボス、ブラック・デビル役の高田宗彦氏が片隅で黙々と食べているのがすごくおかしかった。意表を突くというより、何も考えていない安直さが逆に受けた。デビルはヒーロー物の悪役の元祖で、妙に紳士的なキャラクターが後々まで強烈な印象を残した。

大映の大部屋俳優だった高田氏は、一躍



子どもたちの人気者となった。実娘で女優の松本留美さんが小学生だった当時、彼女の運動会に父がやってくると「あっ、ブラック・デビルだ！」と大混乱に陥って收拾がつかなくなり、学校から出入り禁止を言い渡されたそうだ。その光景があまり目に浮かぶ。僕もその場にいたら、真っ先に騒ぎに加わっていたに違いない。

カレーが庶民的なメニューとして一般家庭に広く普及したのは昭和30年代。後押ししたのはカレールーの飛躍的發展と、ここに始まるテレビCMであった。その先兵となったのが、『少年ジェット』と前後して発売されたエスビーの「モナカカレー」で、この商品のヒットはコック姿の立川談志師匠のテレビCMの効果が大きかったとされる。しかし、『少年ジェット』の放送中にも別バージョンのモナカカレーのCMが頻りに登場していたから、同番組の人気に支えられていたのも間違いあるまい。ジェットの愛犬・シェーンらしきシェパードが、メモの入った買い物カゴをくわえてカレーの材料を買いに行くCMも忘れられない。

\*

カレールーは意外と早く、戦後間もなくから存在した。ただ、いろいろと難点があったために定着までは至らず、小麦粉を炒めてカレー粉を加えるオーソドックスな調理法が一般的だった。その際よく用いられたのが、既に広く出回っていた「赤缶」と呼ばれるエスビーのカレー粉で、うちの台所の棚にもあった。しかし、辛い物の苦手な僕はカレー自体あまり好きではなかった。赤缶が同社の辛子の黄色い缶といつも並んでいて余計辛いイメージが増幅されたうえ、世間で少なからず喧伝（けんでん）されていた「子どもが辛い物を食べるとバカになる」という迷信も頭のどこかにあったのかもしれない。

ところが、CM で知ったモナカカレーを食べてから変わった。下ごしらえした材料にモナカカレーを落とすだけで、米の粉でできた皮が溶けてほど良いとろみが付き、中のカレー粉と混ぜて一丁上がり！ 味よりも、その愛らしい形と発想の斬新さに惹かれた。

24 個入りだったかの缶にはお面のオマケも付いていて、さらに子ども心をくすぐった。現在主流となった板チョコ状のカレールーは、その点どうも夢が無い。モナカカレーは僕にとってカレーの原点であった。

その後は各社から続々カレールーが売り出され、日曜の昼に放送していた「**オリエンタル がっちり買いまSHOW**」の「オリエンタルマースカレー」、アニメ『ゼロ戦はやと』の「キンケイカレー」など人気番組のスポンサーにもなって、一気に開花した。

オリエンタルは全国に宣伝車を走らせて試食までさせ、友人の中には恩恵にあずかった者もいたが、僕は残念ながら出会う機会が無かった。

そして、昭和 40 年代に入ると世界初のレトルト食品でもある「**ボンカレー**」が登場。さらに進化、発展してゆくのは周知の通りだ。モナカカレーはこれと入れ替わるとともに、昭和 42 年 (1967) に製造困難との理由で姿を消した。この困難が何かは判然としないが、一つの役割を終えたということなのだろうか。それからは、ハウスの「パーモントカレー」にすら替えせ

### オリエンタル がっちり買いまSHOW

昭和 38 年 (1963) から現・テレビ朝日系列で放送されていた、視聴者参加の買い物ゲームバラエティ。MC は夢路いとし・喜味こいし。「オリエンタル」は、一社提供のスポンサー名を冠したもので、スポンサー交代に伴い、1972 年以降の正式番組名は「グリコ がっちり買いまSHOW」となった。

### ボンカレー

大塚食品のインスタント・カレーのロングセラーブランド。昭和 43 年 (1968) に世界初の一般向け市販レトルト食品として、阪神地区限定で発売された。当初のパウチの技術では 2、3 か月の賞味期限が限界だったが、翌年には保存性も改良され、全国発売に至る。

ざるを得ず、近年まで続いた。本格カレーは、中学生のころにスリランカ人の家で唇はれ上がって以来、敬遠している。大学生の時は、他のメニューがおいしくないこともあって、一日交代のラーメンとうどん、そばに加え、ほぼ毎日カレーを食べていた。他大学へ行く折は、今でもできる限り学食でこれらを食べるようにしている。カレーとめん類は、ある意味その学校の格を示していると思つてのことだ。親しい先輩は首都圏の主立った学食を網羅し、「〇△大のカレーなんかしょっぱいだけだ。うちのが一番うまい！」と愛校心あふれる結論に達したが、これはちょっと賛成しかねる……。

### アメリカンドッグ事始め+レモネード Corndog & lemon

今やお祭りやコンビニエンス・ストアの定番となったアメリカンドッグ。初めて食べたのは、昭和 30 年代の終わり。場所は「平和島プール」だった。近くには区営プールもあったらしいが規模も小さく、プールといえば地元では私営のこちらを指した。そのころは、ホテルを始めとしたちょっとした施設にはプールがあり、シーズンにはにぎわっていた。ただしホテルのプールは高い割にさほど大きくはなく、その他の施設ではかなりちっちゃなプールもあった。いきおい、人々は「豊島園」などの大型プールへ集中し、平和島プールもその一つだった。

年齢や泳力に合わせたいくつかのエリアがあり、飛び込み台やウオーター・スライダーとかいう高いすべり台も完備され、当時エアコンが普及していなかったこともあって、夏休み中は平日でもかなり混んでいた。そのくせ、トイレはいつもガラガラ。幼児用プールは水がしょっぱいと噂うわさも流れ、近付かないようにしていた。

一角にはおでんやおにぎり、めん類などの店が集まり、アメリカンドッグはレモネードと並んでプールサイドで売られていた。特徴のあるローマ字のロゴとスティックの付いた 10 円アイスのような形が目新しく、まぶしく映った。これなら、ホットドッグより手間がかからずに作り置きもでき、店にとって一石二鳥だ。

値段は 1 本 50 円。かけそばと同じぐら

いだから、今よりずっと割高感がある。ケ

チャップとからし (マスタードが出回る前で、和がらしの粉を溶いていた) は、アロハシャツを着た店の兄ちゃんが付けてくれた。親切でというより、ケチャップの消費量を少しでも抑えようとしているのは見え見えだった。

「うまいな」。僕と友人の O は笑顔を見合わせた。O は近くに住むクラスメートだ。勤勉で成績は常にトップ。無遅刻、無欠席、運動能力にも優れ、性格も申し分なく“俺様”的なところは微み塵じんもない。お母さんもいい人で、よく行き来していた。ただ、まじめ過ぎて融通がきかず、自分に課したペースは絶対崩さない。そんな調子だから、文句を言われそうな遊びには決して誘わなかったが、結構仲は良かった。僕とはまったく逆の O と、今でもずっと付き合っているのは思えば不思議だ。その O も、プールにいる時はほとんどリラックスして、いつもかなり長居した。僕がうながしても帰ろうとはせず、O から誘われることも多かった。彼の目当てはプールよりアメリカンドッグだったらしく、頃合いになると足早にプールサイドへ向かった。他ではまだ見たことがなく、夏のほんのつかの間、ここでしか食べられない“逸品”だった。

ある日、O が腕を組み仁王立ちになって一点を見つめている。周囲の喧騒 (けんそう) も、日かな流れているハワイアン曲も、まったく耳に入っていない集中ぶりだ。「何やってるんだ?」「さっきから見ると、レモネードが全然売れてないな」「そんなのどうだっていいだろう。自分の店でもないんだから」「10 円下げて、ドッグと同じ 50 円にしなきゃだめだ!」

O はなおもしつこく食い下がる。確かに、飲み物の方が高いのはよろしくない。僕も飲みたい時があったが、その金でもう 1 本ドッグを食べる方を選んだ。

今でも、レモンスカッシュはあっても、レモネードは置いていない店の方が圧倒的に多いだろう。あってもホット・レモネードだけだったりして、飲みたければ自分で作った方が早い。昭和 30 年代、貿易自由化前のレモンは、バナナやパイナップルと並んで高い関税が掛けられ、いわば高級品だった。輪切りのレモンを 10 回以上も使い回している喫茶店もあると聞いていた。しかし、件のレモネードはざっくり切ったレモンが景気良く浮かび、アメリカの映画

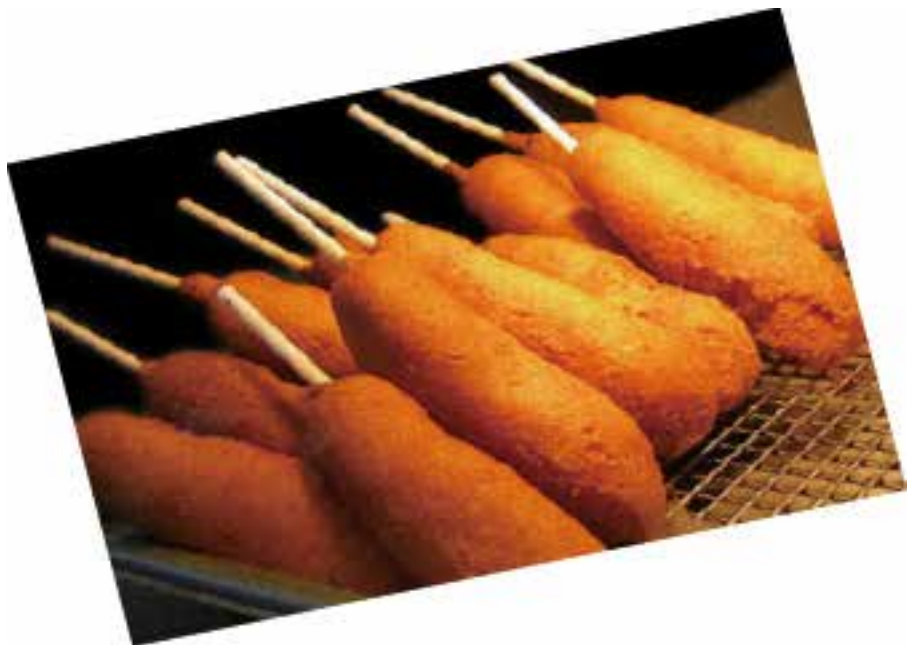
やドラマに出てくるのとそっくりだった。今にしてみると店主に格別な思い入れやポリシーがあったようにも思え、一度飲んでおくんだと後悔している。あながちぼっているばかりではなさそうだったが、レモネードの販売不振の最大の要因は別にあった。

「あのな、売れないのはみんな体が冷えるからだろう。10円下げたって大して変わらないさ」時間を忘れて水に漬かっていると、炎天下でも震えるくらい寒くなる。それが証拠に、売店コーナーでは、冷たい物よりおでんや温かい麺類の方に人が集まっていた。昨今と違って、30度を超えれば猛暑だったのだ。〇は苦笑しながら、「そうか、それもそうだな」とあっさり引き下がった。優等生のプライドから自説に固執しないのが彼のいいところだ。

＊

昭和40年代に入ると、ぼちぼち他にもアメリカンドッグを見掛けるようになった。僕たちも高学年になり、夏休みも補習などに追われて、プールとは疎遠になっていた。その代わり、下校途中の品川の京浜デパート地下でアメリカンドッグが食べられた。地下には「デバ食」を始め、10円寿司や、まだ上京したての味み噌ラーメン、実演販売の鉄板焼きそばなどの立ち食いスタンドが並び、僕らの息抜きのコースとなっていた。ちょうど、会社帰りのサラリーマンが一杯引っ掛ける感覚だ。焼きそばも大人気で、〇は今度はこちらにご執心となったが、やはりアメリカンドッグのコーナーは盛況だった。

自宅でも作ってみようと、メリケン粉と卵を適当に混ぜてソーセージに付けて揚げたら、天ぷらみたいになって見事に失敗。店の人に尋ねると、トウモロコシの粉を使っていると教えてくれた。後に知ったところでは、本国では「テキサスコンドッグ」と呼ばれて、かなりマイナーな存在だったらしく、外国のドラマなどでも見たことは無かった。そのころ、アメリカのノースカロライナ州の留学から戻った叔父に聞いても知らなかったのは当然で、日本と同様、徐々にアメリカ全土に進出していったようだ。「アメリカ」が付けば何でもありがたがる時代だったから、アメリカンドッグも日本で生まれて適当に命名されたのだろう、という僕の想像も今度ばかりは外れていた。



では、誰が最初に日本に持ち込み、売り出したのだろうか？ 平和島プールの店が最初ではないと思うが、こだわりのレモネードの件も鑑みるに、少なくともあの店は勇敢な開拓者の一人だったのだろう。その平和島プールもとうに無く、京浜デパートの立ち食いコーナーも短期間で無くなった。アメリカンドッグはコンビニエンス・ストアで折買うが、これを定番商品にすることを提案した人は、僕と同年代の、あのころ同じ場所で同じ物をほおぼっていたうち

の誰かだった気がしてならない。ケチャップと粒マスタード(!)を付けながら、いつもそんなことを想っている。

著者：千蒙約一郎

作家・評論家。日本刑法学会、ベツト法学会会員。著書に『法律社会の歩き方』(丸善)『スクリーンを横切った猫たち』(ワイス出版)の他、『東京新聞』、『猫生活』(緑書房)『ミステリマガジン』(早川書房)をはじめ連載多数。独特な題材と切り口で、草創期からの海外ドラマの研究にも力を入れている。



## 昭和30年代の 備忘録 for iPhone

© Miniamword Co., Ltd.



あの日、未来は明るかった――。  
慌ただしくもほっこりと、現代人の郷愁を誘う  
“昭和30年代のマスカルチャー”

ケーシー先生や力過山に憧れ、アトムや鉄人熱中し、カラーテレビが、クーラーが、ハンバーガーショップが身近に押し寄せてきた夢いっぱい少年時代。一方で、周りを見回せば捨てられたガム、連続する鉄道大事故、暴走タクシー。牛の絵柄の馬肉100%コンビーフや怪しい溶けないアイスも売られ、食の安全はそっちのけ状態。“古き良き昭和”ばかりではない、リアルな日本の高度成長期を描いた軽快なエッセー。




**\*当書 DVD 版は、月刊 FDI 編集部にて\***  
**本文：108 ページ / 映像：2 分 23 秒 2012 年 9 月 ミリアムワード(株) 発行**  
**価格：1,980 円 (税込)**  
 株式会社ユニワールド 東京都世田谷区上北沢 3-17-5  
 TEL.03-6379-8890 FAX.03-6379-6190 info@uni-w.com



## 流体シミュレーションの新しい扉 ～映画「ポセイドン」のVFX～

倉地 紀子

映画VFXにおける水の表現はこの数年の間に大きく進歩した。流体シミュレーションを導入することも、今では当たり前になったといえる。だが、現在公開中の映画「ポセイドン」では、これまでのCG流体シミュレーションの枠を大きく越える高度なシミュレーション技術を導入し、実写を越える神秘的なリアリズムを表現することに成功した。今回はこの技術の詳細を、VFXを担当したILMのスーパーバイザーとのインタビューを交えて紹介する。

映画「ポセイドン」は、70年代の名作「ポセイドン・アドベンチャー」のリメイク版とされている。「ポセイドン・アドベンチャー」は「ローグ・ウェーブ(異常波浪)」という現象を題材にしたものだったが、ストーリーそのものは転覆した豪華客船からの脱出に焦点が当てられていた。だが、それから約30年を経て制作された「ポセイドン」では、この魔物のような波も一人のヒーローとして重要な役割を果たしている。

「ポセイドン・アドベンチャー」のリメイク版とされているが、そのストーリーや映像には、海の表現と得意とするウォルフガング・ペーターゼン監督ならではの工夫がこらされている



この数年間に、VFXにおける流体シミュレーション技術は著しく進歩し、大波などのような大きな水の塊の動きを流体シミュレーションで作りに出すことは当たり前になってきた。しかしながら、「ポセイドン」で最も重要視されたのは、大きな波の形を作り出すというよりは、船を襲った波が大きく飛び散る様子や、デッキに流れ込んだ水が周りの物体を次々になぎ倒していく様子などを、いかに真に迫った情景として描き出すかということだった。そのためには、水と物体とが干渉する様子を非常に正確にシミュレートする必要がある。だが、これまでVFXに導入されてきた流体シミュレーションだけでは、このような表現は不可能だった。そこで、ILMはパーティクル・レベルセット(PLS)という手法を導入した(注1)。

流体シミュレーションでは、水の塊を小さな立方体(ボクセル)に分割し、ボクセルごとに運動方程式を記述する。そして、これらの連立方程式を解いて、各

ボクセルの速度を算出する。PLSのパーティクルは、水面付近にあるボクセル内に配置する。水面より下の領域(正の領域)にあるパーティクルは正のパーティクル、水面より上の領域(負の領域)にあるパーティクルは負のパーティクルとする。その一方で、PLSでは、水面をレベルセット・ファンクションという関数によって定義する。レベルセット・ファンクションとは、位置を変数とする関数で、その値は、水面上ではゼロ、水面より下では正、水面より上では負となる。

パーティクルの速度は、このパーティクルを含むボクセルの速度をもとに計算されるが、ボクセルの動きと全く同じではない。このため、最初のうちはほとんどのパーティクルが水の塊に接して動いているが、時間が経つにつれて一部のパーティクルは水の塊を離れて空中や水中へと進んでいく。

一方、レベルセット・ファンクションの各点の値も、その点を含むボクセルの速度によって決定される。つまり、流体の運動方程式は大きな時間幅で解き、その各時間幅をさらに細かく分割して、大きな時間幅で算出されたボクセルの速度を用いて細かい時間幅でレベルセット・ファンクションをアップデートすることになる。

上記のようなレベルセット・ファンク

映画のストーリーでは、父と年頃の娘、母と幼い息子といった、親子の関係もクローズアップされている





船を飲み込むローブ・ウェーブ。このシーンでは、大波の形はアーティストの指示で作られ、波と船とのインタラクション(しぶきを挙げている部分)がPLSの手法を用いて作成された © 2006 Warner Bros. Entertainment Inc.



CGによって表現されたローブ・ウェーブ。ILMは映画「パーフェクト・ストーム」でも大波を表現したが、このときは2D流体シミュレーションが用いられた。今回は3D流体シミュレーションが用いられている。ILMが初めて3D流体シミュレーションを映画で用いたのは、「ターミネーター3」だとされている



船のレンダリングにおいても、ILMでは初めてレイを用いたより正確なグローバル・イルミネーションの計算が行われた。ただし計算負荷を軽くするため、1次レイの計算は正確に行うが、2次レイの計算は簡略化した。簡略化の方法としては、ラジオシティ法の考え方を導入して、あらかじめどのパッチ同士が影響を及ぼし合うかを調べておき、あるパッチ上の点から2次レイを飛ばす場合には、そのパッチに影響を及ぼすパッチの方向に向かってだけ2次レイを飛ばす。これによって2次レイの数を制限して、計算を効率化できる

シヨンのアップデートは、細かい時間幅で流体の運動方程式を解いてその度にレベルセット・ファンクションをアップデートするよりも、明らかに効率は良いのだが、そのぶん精度には欠ける。そこで、パーティクルのうちで、水の塊から一定距離内にあるパーティクルを用いて、レベルセット・ファンクションを補正する。

補正方法は、符号が逆転する領域に突入したパーティクル(水面上に突入した負のパーティクルや水面下に突入した負

のパーティクル)を用いて行う。具体的には、これらのパーティクルの球の表面の曲率が、レベルセット・ファンクションが表す水面の曲率より大きくなっている場合には、レベルセット・ファンクションが表す水面をパーティクルの球の表面で置き換える。

水の塊から一定以上離れたパーティクルは、水面の補正には用いずに、空中のしぶきや水中の泡を作り出すために用いられる。上記のように補正された水面とこれらのパーティクルとを結びつけることによ

て、水面が少し持ち上がってそこから水の粒子が飛び散っていく様子や、飛び散った水の粒子が再び水面と融合して1つの流れになっていく様子、水中に空気が入り込んで泡が発生する様子なども正確にシミュレートできるようになった。

ただし、上記の方法で水面を補正する場合、パーティクルが非常に密に配置されていないと滑らかな水面を作り出すことができない。1つのボクセル内のパーティクルの動きは、すべてそのボクセルの速度をベースに算出されるため、比較的似通っている。したがって、効果的に補正を行うためには、ボクセル内のパーティクルの密度を上げるよりも、ボクセルの密度を上げる必要がある。ところが、ボクセルへの分割を細かくすれば方程式の数も増え、シミュレーションにかかる時間は著しく増大する。そこで、スタンフォード大学は、水の塊全体を幾つかの領域に分け、各領域に1台のプロセッサを割り当て、複数のプロセッサで並列に



「ローブ・ウェーブ(異常波浪)」は地震や天候などによって引き起こされるものではなく、海洋のエネルギーが時間的空間的に局所的に集中することによって、通常の3倍以上の大波となって現れる現象を指す。そのメカニズムは正確には解明されておらず、現在でも予測不可能とされている。映画のシーンでは自殺を試みようとした初老の紳士が突然これを発見する

計算する方法を提案した。その結果、1フレームに2日から3日かかっていたシミュレーションの計算が、数時間で終わるまでに短縮されたという。

「ポセイドン」では、水と物体とのインタラクションを正確に表現する上で、レ

ンダリングにおいても、新しいアプローチが取り入れられた。PLS を用いた表現では、同じ種類のパーティクルが、水面の補正・水面上のしびき・水面下の泡などの違った目的で用いられる。これらをよくうまく差別化するためには、それぞれの

パーティクルに適切な質感の特徴(アトリビュート)を与える必要がある。このため、たとえば水面下のパーティクルに関しては、ボリユームトリックな計算に適したアトリビュートが、水面上のパーティクルに関しては内部散乱(マルチ・スキャタリング)の計算に適したアトリビュートが与えられた。水面に関しては、レベルセット・ファンクションがゼロとなる点を抽出し、これらをパッチに変化して、レイ・トレーシングによってレンダリングを行った。

PLS を用いた船と波とのインタラクションがもっとも効果的に表されているシーン。実写を越えるリアルなしびきの表現は圧巻だ。また、今回用いられた PLS では、水面の下だけでなく水面上にもパーティクルを設置することによって、水面下に空気が入り込んで泡が発生する様子も、物理的に正確にシミュレートされている



マルチ・スキャタリングの計算に関しては、ILM が皮膚の質感を作り出すために考案した質感モデルが導入された。パーティクルの中心を通る円の上に光の入射点をサンプリングし、それぞれの入射点の上下に仮想的な負の点光源と正の点光源を配置する。各点光源が出射点(球の中心)に作り出す光の合計が、そのパーティクルがもつマルチ・スキャタリングのアトリビュートとなる。映画に登場する水の表現において、マルチ・スキャタリングまで考慮したレンダリングが行われたのも、今回が初めてだった。

レンダリングに関していえば、船の表現に関しても新たなアプローチがみられる。「ポセイドン」では、およそ水と船とが同時に登場するシーンでは、俳優以外の全てがCGで作成されている。とりわけオープニングの2分では、水中から海面に出たカメラが、晴れた空の下で穏やかな海に浮ぶ船の全貌や船の甲板の情景を克明に描き出す。水に引けをとらない写実性で船を描くことも重要なポイントとなった。そこで、船の表現においては、間接光の影響をより正確に考慮したレンダリングが行われた。これまでILMでは、ほとんどの場合、アンビエント・オクルー



Mohen Leo(Associated VFX supervisor) : 「マトリックス」シリーズで炎のエフェクトを担当。その業績を認められてILMに移る。「ポセイドン」では流体シミュレーションに直結したVFXシーンのスーパーバイジングを担当。将来的な目標は、より物理的に正確な炎のシミュレーションを映画VFXにおいて達成することだという



しぶきのレンダリングでは、しぶきを構成する粒子の内部で散乱する光の効果も正確に計算された(マルチ・スキャタリング)。これによって、白いしぶきの淵のあたりで、光がグローする様子もリアルに表現することができるようになった。波の表面はレイ・トレーシングによって、波の青い部分はボリューム・レンダリングによってレンダリングされた

ジョン・マップという方法を用いて間接光の影響を大雑把に近似していたが、今回はレイを用いたグローバル・イルミネーション(GI)の計算を行っている。ただし、巨大な船を完全なGIでレンダリングしようとする、その計算負荷は非常に重くなる。そこで、ラジオシティ法のコンセプトを導入して2次レイを飛ばす方向を制限する方法がとられた。

「ポセイドン」のプロジェクトは、VFXにおける水の表現の自由度を著しく向上させたという意味で、CG技術の観点からしても大きな意味を持っていたが、ILMではさらにこの方法を改善するための試行錯誤が続けられているという。たとえば、水と物体との干渉において、今回は物体が水に及ぼす影響は正確に計算されていたが、水が物体に及ぼす影響はそれほど考慮されていなかった。そこで現在は、剛体シミュレーションやクロス・シミュレーションと流体シミュレーションとを統合して、水と物体とが相互に影響を及ぼし合う様子を正確にシミュレートすることが考えられている。また、今回のPLSを導入した流体シミュレーションは、水と物体との干渉を表現するには向いているが、逆に大きな海洋などの表現には向いていない。このため2D流体シミュレーションと3D流体シミュレーションとをうまく融合させて、海洋のような広域にわたる平面的な水の領域も、波のような大きな水の塊も、水と物体との干渉も、全てを1つのパイプライ

ンで計算できるような方法が考案されつつあるそうだ(注2)。

流体シミュレーションとしては、水の表現に続いて最後の砦となっているのが、炎のシミュレーションだ。炎の場合には、燃料が酸素と結合して青い炎となり、やがて温度の上昇によって発火し赤い炎となるというように、化学反応によってその見え方の変化が作り出される。化学反応をどのようにして直感的にわかりやすいシンプルな数式によって近似するかが大きな課題となっているようだ。ILMでも、「SW3」や「ハリーポッター4」では、炎の表現において新しいチャレンジが行われている。「ポセイドン」のローグ・ウェーブに代わる新たな映画のヒーローが誕生する日も、それほど遠い未来の話

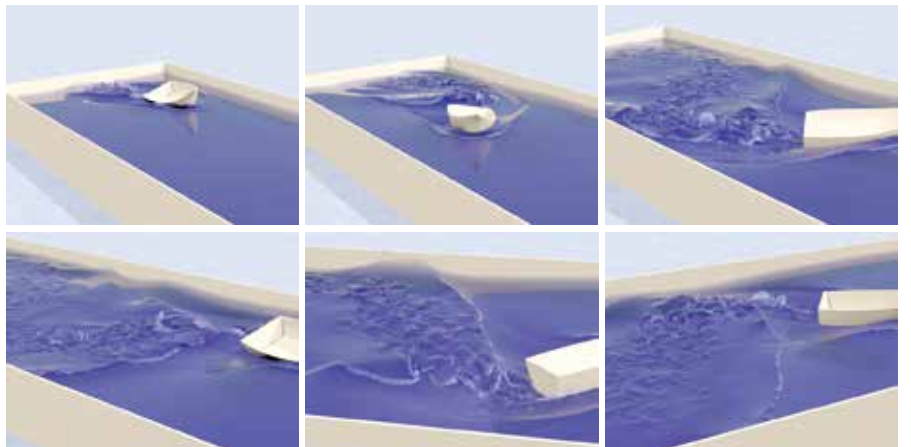
ではなさそうだ。

(注1)PLSの考え方は映画「シュレック」における流体シミュレーションを担当したニック・フォスターによって2001年に考案されたが、この映画では用いられなかった。その後、この手法はスタンフォード大学から2002年に発表された論文によって、水面上のしぶきだけでなく水面下の泡などもシミュレートすることが可能となり、今回ILMはこの手法を導入して「ポセイドン」における水と物体との干渉を表現した。  
 "Practical Animation of Liquids" (Nick Foster\*, Ronald Fedkiw, Proceedings of Siggraph2001) "Animation and Rendering of Complex Water Surfaces" (Douglas Enright, Stephen Marschner, Ronald Fedkiw, Proceedings of Siggraph2002)

(注2) この手法の基本的な考え方に関してはSIGGRAPH2006の論文セッションでその詳細が発表される。  
 "Efficient Simulation of Large Bodies of Water by Coupling Two and Three Dimensional Techniques" (Geoffrey Irving, Eran Guendelman, Frank Losasso, Ronald Fedkiw, Proceedings of Siggraph2006)

Noriko Kurachi

2006年のSIGGRAPHでは、2D流体シミュレーションの考え方を3D流体シミュレーションと融合させて、海洋の大きな動きから海面のディテールまでを1つのパイプラインで作り出す手法が発表された。画像はこの手法を用いて作成した画像。この画像だけではよくわからないが、海底の地形のジオメトリの影響まで反映できる点が大きな特徴となっている(画像提供: Stanford University)



●本誌に広告掲載をいただきました各社からのさらに詳しい情報ならびに資料請求をご希望の方は、  
下記ホームページ（各社 URL 記載）か本誌のホームページ「<http://www.uni-w.com/fdi>」をご覧ください。

会社名 URL	掲載頁	キャノンマーケティングジャパン <a href="https://canon.jp/">https://canon.jp/</a>		日本フォームサービス株式会社 <a href="https://www.forvice.co.jp/">https://www.forvice.co.jp/</a>	
アイディーエクス <a href="https://www.idx.tv/">https://www.idx.tv/</a>		グラスバレー <a href="https://www.grassvalley.jp/">https://www.grassvalley.jp/</a>		ネットワークエレクトロニクスジャパン <a href="https://www.network-electronics.co.jp/">https://www.network-electronics.co.jp/</a>	
アコースティックエンジニアリング <a href="https://www.acoustic-eng.co.jp/">https://www.acoustic-eng.co.jp/</a>		K-WILL <a href="https://www.kmw.co.jp/">https://www.kmw.co.jp/</a>		ノイトリック <a href="https://www.neutrik.co.jp/">https://www.neutrik.co.jp/</a>	
アスク <a href="https://www.ask-corp.co.jp/">https://www.ask-corp.co.jp/</a>		計測技術研究所 <a href="https://www.keisoku.co.jp/">https://www.keisoku.co.jp/</a>		ハーモニック <a href="https://harmonicinc.com/">https://harmonicinc.com/</a>	
アストロデザイン <a href="https://www.astrodesign.co.jp/">https://www.astrodesign.co.jp/</a>		コルグ <a href="https://www.korg.co.jp/">https://www.korg.co.jp/</a>		パナソニック <a href="https://panasonic.biz/sav">https://panasonic.biz/sav</a>	
アビッドテクノロジー <a href="https://www.avid.co.jp">https://www.avid.co.jp</a>		シンタックスジャパン <a href="https://www.synthax.jp/">https://www.synthax.jp/</a>		光バスコミュニケーションズ <a href="https://h-path.co.jp">https://h-path.co.jp</a>	
ヴィンダムプロダクションソリューションズ <a href="https://videndum-vps.jp/">https://videndum-vps.jp/</a>		西華産業 <a href="https://www.seika-di.com/">https://www.seika-di.com/</a>		ビジュアルテクノロジー <a href="https://www.v-t.co.jp/">https://www.v-t.co.jp/</a>	
池上通信機 <a href="https://www.ikegami.co.jp/">https://www.ikegami.co.jp/</a>		ゼンハイザージャパン <a href="https://www.sennheiser.co.jp/">https://www.sennheiser.co.jp/</a>		ビデオ・テック <a href="https://www.videotech.co.jp/">https://www.videotech.co.jp/</a>	
伊藤忠ケーブルシステム <a href="https://www.itochu-cable.co.jp/">https://www.itochu-cable.co.jp/</a>		ソニービジネスソリューション <a href="https://www.sony.jp/pro/">https://www.sony.jp/pro/</a>		ビビノ <a href="https://www.hibino.co.jp/">https://www.hibino.co.jp/</a>	
インフィニットシステムズ <a href="https://www.infinite-s.com">https://www.infinite-s.com</a>	P.2-P.3	ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン <a href="https://www.solid-state-logic.co.jp/">https://www.solid-state-logic.co.jp/</a>	P.4	ビビノインターサウンド <a href="https://www.hibino-intersound.co.jp/">https://www.hibino-intersound.co.jp/</a>	
ヴィレッジアイランド <a href="https://www.village-island.com/jp/">https://www.village-island.com/jp/</a>		高橋建設 <a href="https://www.takahashi-kensetsu.co.jp">https://www.takahashi-kensetsu.co.jp</a>		フォトロン <a href="https://www.photron.co.jp/">https://www.photron.co.jp/</a>	
ウエスタン・デジタルコーポレーション（サンディスク） <a href="https://shop.westerndigital.com/ja-jp/promotions/sandisk-professional/product-launch">https://shop.westerndigital.com/ja-jp/promotions/sandisk-professional/product-launch</a>		タックシステム <a href="https://www.tacsystem.com/">https://www.tacsystem.com/</a>		フォービット <a href="https://www.fourbit.co.jp/">https://www.fourbit.co.jp/</a>	
エーティコミュニケーションズ <a href="https://www.bizsat.jp/">https://www.bizsat.jp/</a>	P.22/P.23	タムラ製作所 <a href="https://www.tamura-ss.co.jp/">https://www.tamura-ss.co.jp/</a>		富士フイルム <a href="https://www.fujifilm.co.jp/">https://www.fujifilm.co.jp/</a>	
ATV <a href="https://www.atvcorporation.com/">https://www.atvcorporation.com/</a>		ティアック <a href="https://www.teac.co.jp/">https://www.teac.co.jp/</a>		ブラックマジックデザイン <a href="https://www.blackmagic-design.com/jp/">https://www.blackmagic-design.com/jp/</a>	
SCA サウンドソリューションズ <a href="https://ss.sc-a.jp/">https://ss.sc-a.jp/</a>		ティーエムエス <a href="https://www.tmsmedia.co.jp/">https://www.tmsmedia.co.jp/</a>		ブロードメディア・サービス <a href="https://www.bm-s.jp/">https://www.bm-s.jp/</a>	
エヌジーシー <a href="https://www.ngc.co.jp/">https://www.ngc.co.jp/</a>		TCグループ・ジャパン <a href="https://www.tcgroup-japan.com/">https://www.tcgroup-japan.com/</a>		朋 栄 <a href="https://www.for-a.co.jp/">https://www.for-a.co.jp/</a>	
NKL <a href="https://www.nkl.jp/">https://www.nkl.jp/</a>		ディーエスピージャパン <a href="https://www.dspj.co.jp">https://www.dspj.co.jp</a>		ニッキヤビ <a href="https://www.niccabi.co.jp/">https://www.niccabi.co.jp/</a>	
エムアイシー・アソシエイツ <a href="https://www.micassoc.co.jp/">https://www.micassoc.co.jp/</a>		テクノハウス <a href="https://www.technohouse.co.jp/">https://www.technohouse.co.jp/</a>		ミックスウェーブ <a href="https://www.mixwave.co.jp/">https://www.mixwave.co.jp/</a>	
エレクトロ <a href="https://www.electori.co.jp">https://www.electori.co.jp</a>		東通インターナショナル <a href="https://www.totsu-int.co.jp/">https://www.totsu-int.co.jp/</a>		三 友 <a href="https://www.mitomo.co.jp/">https://www.mitomo.co.jp/</a>	
オーディオテクニカ <a href="https://www.audio-technica.co.jp/">https://www.audio-technica.co.jp/</a>		東通産業 <a href="https://www.totsu.co.jp/">https://www.totsu.co.jp/</a>		モガミ電線 <a href="https://www.mogami.com/">https://www.mogami.com/</a>	表 3/ 表 4
オタリ <a href="https://www.otari.co.jp/">https://www.otari.co.jp/</a>	表 1 見開き	日本映画テレビ技術協会 <a href="https://www.jma.or.jp/dp">https://www.jma.or.jp/dp</a>		ヤマハ <a href="https://proaudio.yamaha.co.jp/">https://proaudio.yamaha.co.jp/</a>	
オタリテック <a href="https://www.otaritec.co.jp/">https://www.otaritec.co.jp/</a>		日本エレクトロニクスショー協会 <a href="https://home.jesa.or.jp/">https://home.jesa.or.jp/</a>		リアルサウンドラボ・ジャパン <a href="https://www.realsoundlab.jp/">https://www.realsoundlab.jp/</a>	
カナレ電気 <a href="https://www.canare.co.jp/">https://www.canare.co.jp/</a>		日本テクトロニクス <a href="https://www.tektronix.co.jp/">https://www.tektronix.co.jp/</a>		リーダー電子 <a href="https://www.leader.co.jp/">https://www.leader.co.jp/</a>	
環境スペース <a href="https://www.soundzone.jp/">https://www.soundzone.jp/</a>		日本テックトラスト <a href="https://www.tech-trust.co.jp/">https://www.tech-trust.co.jp/</a>		ローデ・シュワルツ・ジャパン <a href="https://www.rohde-schwarz.co.jp/ja/">https://www.rohde-schwarz.co.jp/ja/</a>	

## 編集後記



●3月から4月の中旬にかけてしろいはなをよく見かける。シロヤマブキは、春にヤマブキの花に似た白いバラ科の落葉低木。同じ時期に咲くヤマブキに似ていることからそう呼ばれているが、黒い実をつける。シロ花タンポポは、日本古来種であるが近畿より西で多く見られる。近年では関東でも観ることができるので、我が家でも

10年くらい前から観ることができる。白雪芥子は、可愛い名前だが、茎や根に毒性があるという。中国名では血水草と呼び茎を切ると、赤い血のような液が出る。白いジャーマンアイリスが咲き出した。(maru)

◆“AI”(Artificial Intelligence)は人工知能と訳されている言葉であるが、もはやこの言葉を耳にしない日がないくらい世間一般でも使用されている。そして講演会や展示会などでも“AI”をテーマにした数多くの催しが行われている。現在でも我々は知らず知らずのうちに各種の“AI”を駆使して日々生活を送っている訳であるが、これにより従来は業務として人々が行なって来たものが、悉く変化してきている。解りやすい例として、「駅の改札口」や「高速道路の入口」の係員である。そして、昨今聞いた話では、生成AI ロボットを製造して月面の鉱物資源を採取して地球に運ぶというような事まで考えられている時代である。そうなると、生成AI ロボットが生成AI ロボットを製造して経済が成り立っていくSF映画のような時代になるわけで、生成AI ロボット側が人間は



AIをテーマにした各所に開かれる催しには、多数の来場者が訪れる不要な存在などと判断して駆逐されることも懸念されることである。そう考えるとこれからの人類は未知なる領域に突入している時代になりつつあるのではなからうか。(T.S)

### 月刊フルデジタル・イノベーション

2026年4月号(第29巻第4号)  
発行日 2026年4月10日  
発行人 塩原 孝夫 Takao Shiobara  
編集長 持丸 和夫 Kazuo Mochimaru  
発行 (株)ユニワールド  
URL: [www.uni-w.com/fdi/](http://www.uni-w.com/fdi/)  
E-mail: [info@uni-w.com](mailto:info@uni-w.com)  
〒156-0057 東京都世田谷区上北沢3-17-5  
Tel. 03 (6379) 8890 Fax.03 (6379) 6190

## 敷設一撤収を繰り返す 可動的用途専用 LAN ケーブル No.3306

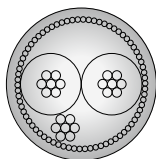
PA/屋外使用等、敷設・撤収を繰り返す可動的な用途向けに特別に設計したイーサネットケーブルです。柔軟なため床に平に引き回せ、通常のフィールドワークに耐える十分な機械的強度があります。特性値はTIA/EIA-568B Category 5e を完全に満足します。



## MULTICORE AES/EBU & DMX SNAKE CABLES AES/EBU & DMX マルチケーブル

世界の定番として定着したモガミのマルチ・マイクケーブル同様に柔軟で細く、加工や施工が容易で取り扱いの楽な110ΩAES/EBU&DMX信号用のマルチケーブルです。

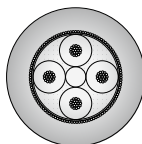
- 発泡PP絶縁体使用によりコンパクトな仕上がり外径にもかかわらず、太いサイズの導体が使われており低減衰量が実現されています。
- その他、アナログ用のマルチケーブル同様、下記の特長を有します。
  - ナンバリング等による容易なコアの識別
  - 同一サイズのドレインワイヤによる配線の容易さ
  - 柔軟で低温特性の良いジャケット材



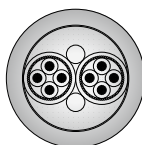
## HIGH TENSION AERIAL MIC. CABLES 吊りマイクケーブル

モノラル版には切断荷重 830N のステンレス・ワイヤロープを1本ステレオ版には2本(計 1,660N)を加えた吊りマイクケーブルです。広範囲に利用できるように総てカッド(4芯シールド)構造に設計されています。

Part No.3177  
(MONAURAL)

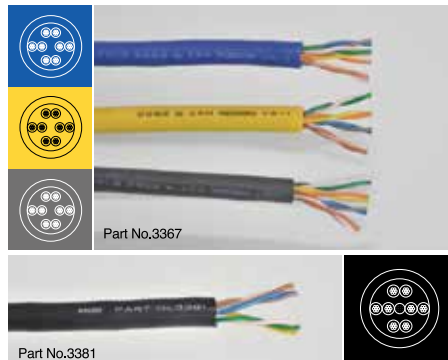


Part No.3178  
(STEREO)



## 施工工事用LANケーブル No.3367, 3381

施工工事時に有刺鉄線のようにならず楽に配線出来るよう、平にまっすぐ収まるように設計されたLAN CABLEです。UL VW- 難燃規格にも適合しており、標準で3色(青・灰・黄)用意しました。



## BNCコネクタ付き同軸ケーブル

共に高品質な部品を提供し続けてきたモガミ電線と多治見無線電機の組み合わせで実現されたフィールドエンジニアの為の夢のケーブルです。50Ω/75Ωの両タイプ共あります。

ワンタッチロック“PUSH-PULL”方式採用！密集したパネルや設置時間の短縮、頻繁な抜き差しに格段の効果を発揮します。

## BNC-2964



## #24AWG STEREO MIC. CABLE 0.226mm<sup>2</sup> ステレオ マイクケーブル

ステレオ(ペア)で引き回せて、しかも分岐した後の両チャンネルのコアが通常のマルチケーブルよりも太く丈夫なものをという要望に答えて設計されたケーブルで、ドラマ取り等、常にステレオで引き回す場合に便利で、湿がらかりが減ります。

コア径は 4.8mm で分岐した後の XLR コネクタに接続される片チャンネル単独部分にも機械的な安心感があります。また、導体には OFC を使い、静電容量も通常のマイクケーブル並に低く抑えています。

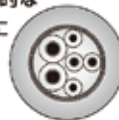


Part No.3106

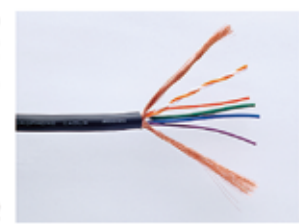


## HIGHEST DEFINITION TUBE MICROPHONE CABLE 高解像度チューブ・マイクロホン・ケーブル

代表的なチューブマイクの電源回路を含めた電気回路に基づいて設計された、高音質追求型のチューブマイク専用ケーブルです。ほとんどの代表的なチューブマイクに適合します。



Part No.3172



# オーダーメイドケーブル

柔軟な電線がほしい

入手困難な仕様になりそう

用途に適した電線がない

…そんなとき



長年のケーブル設計・製造ノウハウ

信頼できる品質管理体制

開発に適した一貫生産体制

少量生産に適した生産設備

充実した試験設備と CAD システム

**設 計・御見積もり 無 料**

試しに、ご希望やアイデアをメールかファックスにてお送り下さい。

的確ですばやい応答をお約束します。

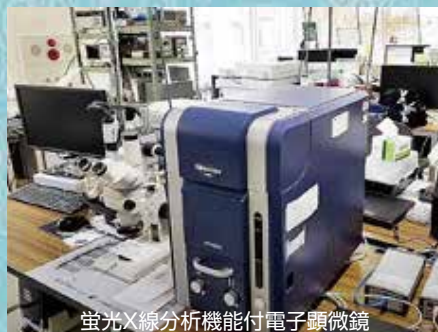


外径制御及び各データ監視・記録システム

## 品質管理体制



測定検査室



蛍光X線分析機能付電子顕微鏡



フーリエ変換赤外分光光度計



非破壊検査用X線照射装置

モガミ電線株式会社

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀469 TEL.0263(52)0131 FAX.0263(52)6565  
E-Mail : sales@mogami-wire.co.jp

URL : <http://www.mogami-wire.co.jp>

